NTT docomo GALAXY Tab 7.0 Plus SC-02D

取扱説明書

はじめに

「SC-02D」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末のご使用にあたって

- 本端末は、W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA･GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

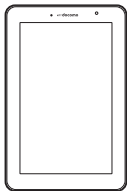
SIMロック解除

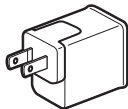
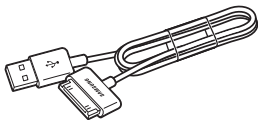
本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

本体付属品／試供品について

■ 本体付属品

SC-02D
（保証書含む）

クイックスタートガイド

ACアダプタ SC02
（保証書含む）

USB接続ケーブル SC01

■ 試供品

microSDカード（1GB）
（取扱説明書付き）

マイク付ステレオヘッドセット
（取扱説明書付き）

その他のオプション品について → P.349

取扱説明書について

■「クイックスタートガイド」（本体付属品）
画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明

■「取扱説明書」（本端末のアプリケーション）
機能の詳しい案内や操作について説明
本端末のホーム画面で「アプリケーション」→「取扱説明書」をタップします。項目によっては、記載内容をタップして、説明ページよりダイレクトに内容の参照や機能の起動を行うことができます。

- 初めてご利用される際には、画面の指示に従って本アプリケーションのダウンロードとインストールをする必要があります。

■「取扱説明書」（PDFファイル）
機能の詳しい案内や操作について説明
ドコモのホームページでダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※「クイックスタートガイド」の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など連続する操作手順を省略して以下のように記載しています。

- タップとは、本端末のディスプレイを指で軽く触れて行う操作です（P.66）。

（例）ディスプレイのホーム画面から、アプリケーション をタップして、（Google検索アイコン）をタップする場合は、以下のように記載しています。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「Google検索」

- 本書の操作手順や画面は、主にお買い上げ時の状態に従って記載しています。本端末は、お客様が利用するサービスやインストールするアプリケーションによって、メニューの操作手順や画面の表示内容などが変わる場合があります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、複数の操作方法が可能な機能や設定は、主に操作手順がわかりやすい方法について説明しています。
- 本書では、「SC-02D」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- FOMAカードをご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。

目次

本端末のご利用にあたっての注意事項

- 本端末は、iモードのサイト（番組）への接続やiアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末は、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、AndroidマーケットなどのGoogleサービスやFacebook、LinkedIn、mixi、Twitterを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「端末情報」→「ステータス」をタップします。

- 画像や動画、音楽などのお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。接続方法について、詳しくは「ファイル管理」章（P.268）をご参照ください。また、各種オンラインによるデータバックアップサービスのご利用をおすすめします。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。
- テザリング利用時は、通信料が高額になる場合があります。パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- テザリングのご利用には、sp モードのご契約が必要です。
- テザリングの初期設定では、外部機器と本端末間でパスワードなどのセキュリティは設定されていません。任意のパスワードなどの設定をお勧めします。
- 本端末では、マナーモード中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用するACアダプタ（USB接続ケーブル含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

外部接続端子やヘッドホン接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をＡＣアダプタ（ＵＳＢ接続ケーブル含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームなどを長時間行うと、本端末やACアダプタ（USB接続ケーブル含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2. 本端末の取り扱いについて

■ 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠ 警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

本端末内のUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。 医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は､バイブレータ（振動）や通知音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部の表面にはITOフィルム、カメラのレンズの表面にはアクリル樹脂部品を使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠ 注意

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上、ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について → P.27「材質一覧」

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

3.ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）の取り扱いについて

⚠ 警告

USB接続ケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）には触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントにつないだ状態でUSB接続ケーブルの30ピンプラグをショートさせないでください。また、USB接続ケーブルの30ピンプラグに手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

USB接続ケーブルのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でACアダプタ（USB接続ケーブル含む）のコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
AC100V ～ 240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、USB接続ケーブルのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

4. ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

5.医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠ 警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

6. 材質一覧

使用箇所	使用材質	表面処理
表面／ディスプレイパネル	強化ガラス	I/F コーティング
外装ケース（周囲）	側面：PC＋ガラス繊維20%	ウレタンコーディング
	背面：PC	UV コーティング
ヘッドホン接続端子	SUS	研磨仕上げ
音量小／大ボタン、電源ボタン	PC	UV コーティング

使用箇所	使用材質	表面処理
UIM カードスロット／ microSD カードスロット	SUS	ー
UIM カードスロットカバー／ microSD カードスロットカバー	PC＋ウレタン	UV コーティング
リアカメラレンズパネル	アクリル樹脂	ー
カメラレンズ周囲部分	アルミニウム	アルマイト
フラッシュパネル	PC	ー
外部接続端子	SUS	ー
スピーカーグリル	SUS	ー
レシーバーグリル	SUS	塗装
赤外線パネル	PC	ー

7.試供品（microSDカード、マイク付ステレオヘッドセット）の取り扱いについて

⚠ 危険

■ マイク付ステレオヘッドセット

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

■ microSD カード／マイク付ステレオヘッドセット

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
故障、火災の原因となります

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

■ マイク付ステレオヘッドセット

禁止

端子に導電性異物（金属片､鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などを運転中にマイク付ステレオヘッドセットを使用しないでください。
事故の原因となります。

禁止

歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、マイク付ステレオヘッドセットの音量を上げないでください。また、周囲の交通、路面状態には気を付けてください。
事故の原因となります。

⚠ 注意

■ microSDカード／マイク付ステレオヘッドセット

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

■ microSDカード

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形やデータの消失、故障の原因となります

禁止

曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

金属端子部分に手や導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）で触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

microSDカードへのデータの書き込み／読み出し中に、振動／衝撃を与えたり、電源を切ったり、機器から取り外したりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

分解、改造をしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

■ マイク付ステレオヘッドセット

マイク付ステレオヘッドセットのコードを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たったり、コードが外れたりするなど、けがなどの事故、故障、破損の原因となります。

マイク付ステレオヘッドセットを使用するときは、音量に気を付けてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **水をかけないでください。**

本端末、ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ 本端末などに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やヘッドホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

本端末についてのお願い

■ ディスプレイの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
ディスプレイが破損する原因となります。

■ 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■ お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■ 外部接続端子やヘッドホン接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■ 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ 通常はUIMカードスロットカバー、microSDカードスロットカバーを閉じた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■ microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ 内蔵電池は消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。

■ 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。

■ 内蔵電池を保管される場合は、次の点にご注意ください。
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）についてのお願い

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。
■ 次のような場所では、充電しないでください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ 充電中、ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
■ 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
■ 強い衝撃を与えないでください。また、外部接続端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

■ ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
■ 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
■ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 本端末では、ヘッドセット、オーディオ、オブジェクトプッシュ、シリアルポート、ヒューマンインターフェースデバイス、パーソナルエリアネットワークを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetoothデバイスのみ）。

■ 周波数帯について

本端末のBluetooth機能／無線LAN機能（2.4GHz帯）が使用する周波数帯、変調方式、想定される与干渉距離、および周波数変更の可否は、次のとおりです。

使用周波数帯域	2400MHz帯
変調方式と想定される与干渉距離	FH-SS方式：10m以下　DS-SS方式：40m以下 OFDM方式：40m以下
周波数変更の可否	2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetoothデバイス使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 本端末の5GHz帯の使用チャンネルについて

本端末は、5GHzの周波数帯において、W52、W53、W56の3種類のチャンネルを使用できます。

- W52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。

試供品（microSD カード、マイク付ステレオヘッドセット）についてのお願い

■ **水をかけないでください。**
microSDカード、マイク付ステレオヘッドセットは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末からマイク付ステレオヘッドセットを取り外すときは、必ずマイク付ステレオヘッドセットのプラグ部分を持って本端末から水平に引き抜いてください。**
無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

注意

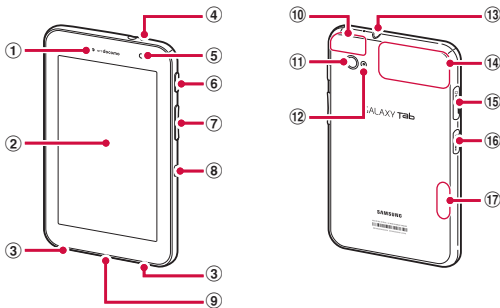
■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

■ **通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。**

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

① 照度センサー
- 周囲の明るさを検知します。ディスプレイの明るさの自動調整などに利用されます。

② ディスプレイ（タッチスクリーン）→ P.66

③ スピーカー

④ 送話口

- 自分の音声を相手に送ります。

⑤ フロントカメラ

- 自分を撮影するときなどに使用します。

⑥ ◯ ① 電源／終了ボタン

- 2秒以上押して、本端末の電源を入れます。
- 手動で画面ロックを設定できます（P.65）。
- 1秒以上押すと、オプションメニュー画面が表示されます。電源を切ったり、マナーモードや機内モードを設定したりすることができます。
- 本端末をリセットするには、本端末が再起動するまで10～15秒押し続けます。

⑦ 音量小ボタン／音量大ボタン

- 音声着信音量を調節します。
- をタップすると、音声着信音量、通知音量、メディア音量、アラーム音量、操作音量を調節できます。

⑧ 赤外線ポート

⑨ 外部接続端子

- 付属のUSB接続ケーブルなどを接続します。

⑩ Bluetooth ／ GPSアンテナ部※

⑪ **リアカメラ**
- 静止画や動画を撮影します（P.285）。

⑫ **フラッシュ**
- 静止画／動画の撮影時に点灯します。

⑬ **ヘッドホン接続端子**
- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）などを接続する直径3.5mmの接続端子です。

⑭ **FOMAアンテナ部※**

⑮ **UIMカードスロット**

⑯ **microSDカードスロット**

⑰ **Wi-Fiアンテナ部※**

※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

ドコモUIMカード

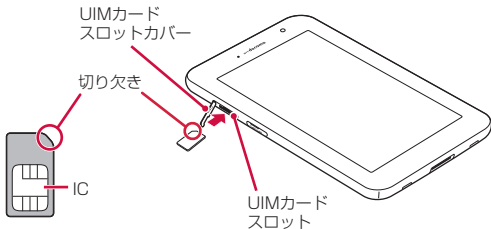
ドコモUIMカードは、お客様の情報が記録されているICカードです。本端末にドコモUIMカードが取り付けられていないと、一部の機能が利用できません。

- ドコモUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモUIMカードの取扱説明書をご覧ください。
- FOMAカード（青色）をお使いの場合、海外で本端末を利用することはできません。
FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

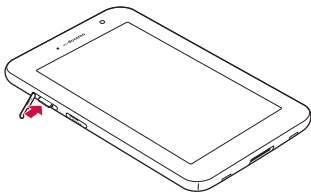
ドコモUIMカードの取り付け／取り外し

- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切ってから行ってください（P.65）。
- 取り付け／取り外しを行うときに、ドコモUIMカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

ドコモUIMカードを取り付ける

1 UIMカードスロットカバーを開き、ドコモUIMカードを図の向き（IC面が下）で「カチッ」と音がするまでUIMカードスロットの奥に差し込む

ドコモUIMカードを取り外す

1 **UIMカードスロットカバーを開き、ドコモUIMカードを「カチッ」と音がするまで矢印の方向に軽く押し込む**

ドコモUIMカードが少し飛び出します。

2 **ドコモUIMカードをまっすぐ引き出す**

お知らせ

- ドコモUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。
- ドコモUIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモUIMカードはなくさないようご注意ください。

ドコモUIMカードの暗証番号について

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号が設定されています（P.218）。

microSDカードを使う

本端末は、microSDカード（microSDHCカードを含む）を取り付けて使用することができます。

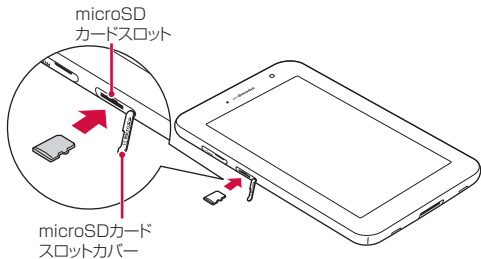
- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年11月現在）。
- 対応のmicroSDカードは各microSDメーカへお問い合わせください。

microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

- 取り付け／取り外しを行うときに、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

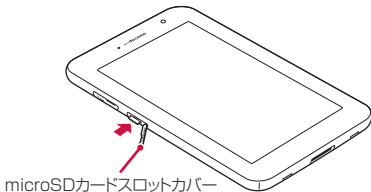
microSDカードを取り付ける

1 **本端末のmicroSDカードスロットカバーを開き、microSDカードの金属端子面を下にして、図の向きにスロットへmicroSDカードが固定されるまで奥に差し込む**

正しい向きに差し込むと、まずmicroSDカードスロット内のガイドに軽く当たります。そのまま、「カチッ」と音がするまで、奥に差し込んでください。

microSDカードを取り外す

- microSDカードを取り外すときは、あらかじめ「外部SDカードのマウント解除」(P.225)を行ってください。

1 **本端末のmicroSDカードスロットカバーを開き、本端末に取り付けられているmicroSDカードを矢印の方向に軽く押し込む**

microSDカードが少し飛び出します。

2 **microSDカードをまっすぐ引き出す**

microSDカードを初期化する

- microSDカードを初期化すると、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「ストレージ」

2 「外部SDカードの初期化」→「外部SDカードを初期化」→「全て削除」

充電

■ 内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ 充電について

- 付属のACアダプタはAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中に本端末を使用するとき、充電に使用している電源が不安定な場合は、タッチスクリーンが動作しないことがあります。この場合、ACアダプタを取り外して、充電を中断してください。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。

■ 電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。

- 充電中に本端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わったあと本端末は内蔵電池から電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れの警告が表示されてしまうことがあります。
  このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本端末を一度ACアダプタから外して再度セットし直してください。

■ 内蔵電池の使用時間の目安

- 内蔵電池の使用時間は、充電時間や内蔵電池の劣化度で異なります。

連続待受時間	FOMA ／ 3G	静止時（自動）：約1100時間
	GSM	静止時（自動）：約960時間
連続通話時間	FOMA ／ 3G	約1200分
	GSM	約1160分

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、内蔵電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受時間が約半分程度になる場合があります。インターネットなどで通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話や通信をしなくても、メールの作成、ダウンロードしたアプリケーションの起動、データ通信、カメラの使用、動画の再生、音楽再生・Bluetooth接続を使用すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 滞在国のネットワーク状況によっては、連続通話時間、連続待受時間が短くなることがあります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

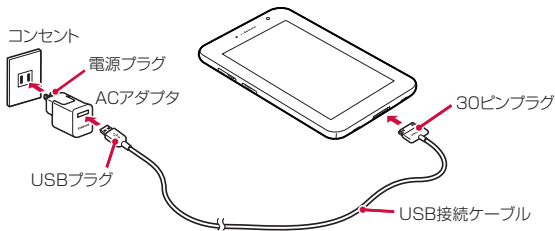
■ 内蔵電池の充電時間の目安

ACアダプタ	約230分

- 充電時間の目安は、本端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの時間です。本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

ACアダプタを使って充電する

付属のACアダプタとUSB接続ケーブルを使って充電する方法を説明します。

- お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタとUSB接続ケーブルで充電してからお使いください。
- ACアダプタの電源プラグ部分に強い力をかけないでください。電源プラグ部分が外れることがあります。
- USB接続ケーブルのプラグは、無理な力がかからないよう水平にゆっくり抜き差ししてください。

1. USB接続ケーブルのUSBプラグを、⭠⊶ の印字面を上にしてACアダプタへ矢印の方向に差し込む
2. 本端末の外部接続端子にUSB接続ケーブルを30ピンプラグの「SAMSUNG」の印字面を上にして差し込む
3. ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

   充電が完了すると、充電完了音が鳴り、 と充電完了のメッセージが表示されます。 は に変わります。
4. 充電が完了したら、30ピンプラグを本端末から引き抜く
5. ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

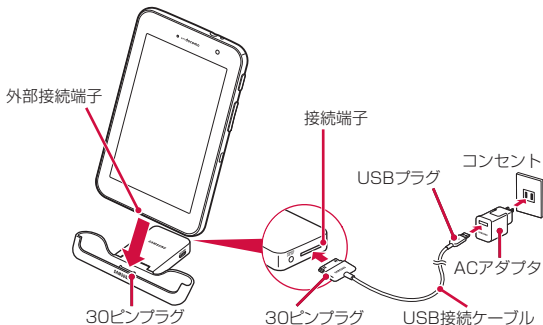
■USB接続ケーブルでパソコンと接続して充電する

本端末の電源を切った状態か、画面の表示が消えている状態でパソコンと接続すると、充電できます。

- パソコンとの接続のしかたは、P.269をご覧ください。
- 画面の表示中は、ステータスバーに が表示されます（本端末の状態により、充電に時間がかかる場合や、充電できない場合があります）。

卓上ホルダを利用して充電する

卓上ホルダ SC04（別売）と付属のUSB接続ケーブル SC01、ACアダプタ SC02を使って、本端末を充電する方法を説明します。

- USB接続ケーブルのプラグは、無理な力がかからないよう水平にゆっくり抜き差ししてください。

1 本端末を卓上ホルダに接続する

- 本端末の外部接続端子に、卓上ホルダの30ピンプラグをしっかりと差し込んでください。
- 本端末が卓上ホルダに接続されると、接続完了音が鳴ります。

2 卓上ホルダの接続端子にUSB接続ケーブルの30ピンプラグを「SAMSUNG」の印字面を上にして差し込む

3 USB接続ケーブルのUSB プラグを、の印字面を上にしてACアダプタへ矢印の方向に差し込む

4 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

5 充電が完了したら、USB接続ケーブルの30ピンプラグを卓上ホルダから引き抜く

- 本端末が卓上ホルダから引き抜かれると、接続解除音が鳴ります。

6 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

電池が切れそうになると

通知音が鳴り、充電を促すメッセージが表示され、ディスプレイが暗くなります。電池残量がなくなると自動的に本端末の電源が切れます。充電を促すメッセージとともに表示される「バッテリー使用量」をタップすると、現在電力を消費している機能が一覧表示されます。機能やアプリケーションによっては、起動しようとすると電池残量が少ない旨のメッセージが表示され、一部の機能が利用できなくなります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

- 電池残量が全くない場合は、2～3分間充電しないと電源が入りません。

1 ⏻ を2秒以上押す

起動画面が表示されます。

- ドコモUIMカードを取り付けずに電源を入れた場合は、起動画面に取り付けを促すメッセージが表示されます。

初めて電源を入れた場合

画面の指示に従って初期設定を行います（P.75）。

2 画面をロングタッチし、外の円までドラッグする

■ 電波状態を確認する

ステータスバーに電波レベルを示すアイコンが表示されます（P.91）。

電源を切る

1 ⏻ **を1秒以上押す**

2 「電源OFF」

3 「OK」

終了画面が表示され、電源が切れます。

画面をロック／解除する

画面の表示を消し、タッチスクリーンやボタンの誤動作を防止できます。

- 「バックライト点灯時間」（P.211）の設定により画面の表示が消えると、約5秒後に自動的に画面が消えます。

1 ⏻ **を押す**

画面の表示が消え、画面がロックされます。

ロックを解除する場合

⏻ を押して表示された画面をロングタッチし、外の円までドラッグします。

お知らせ

- 「ロック画面の設定」（P.213）で、ロック解除時にパターン／ PIN ／パスワードの入力が必要になるように設定できます。

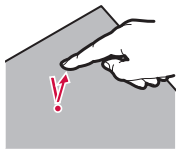
タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン利用上のご注意

- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールを貼っての操作

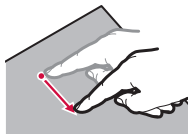
本端末のタッチスクリーン（ディスプレイ）は、指で触れて操作します。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

■ タップする／ダブルタップする

表示項目やアイコンなどを指で軽く触れて選択／実行します（タップ）。
また、表示されている画像やホームページなどをすばやく2回続けてタップして、表示内容を拡大／縮小します（ダブルタップ）。

■ ロングタッチする

表示内容や表示項目などを指で1秒以上触れ続けて、メニューなどを表示します。

■ ドラッグ（スライド）する

表示項目やアイコンなどを指で押さえながら、移動します。

■ スクロールする

表示内容を指で押さえながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。

■ フリックする

表示内容を指で押さえながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。

■ 2本の指の間隔を広げる/狭める

表示されている画像やホームページなどを2本の指で押さえながら、指の間隔を広げたり、狭めたりして表示内容の拡大/縮小ができます。

ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

本端末は、本体の縦／横の向きや傾きを感知して自動的にディスプレイの表示方向の切り替えなどを行うモーションセンサーに対応しています。

お知らせ

- 表示方向が自動的に切り替わらないアプリケーションもあります。
- ディスプレイが地面に対し垂直に近い状態で操作してください。地面に対し水平に近い状態になっていると、本端末を縦横に傾けても画面表示は切り替わりません。
- 「画面の自動回転」（P.211）で表示方向を切り替えないように設定できます。
- 「モーション」（P.222）を設定すると、本端末を前後に傾けたり、左右に動かしたりして、画面表示の拡大／縮小操作や、アイコン／画面の移動操作ができます（対応するアプリケーションでのみ操作ができます）。

最近使用したアプリケーションを開く

最近使用したアプリケーションのリストを表示して、アプリケーションを起動できます。

- リストには、最大19件までのアプリケーションが表示されます。

1 **をタップする**

最近使用したアプリケーションがリスト表示されます。

- 表示しきれないアプリケーションがある場合は、上下にスライド／フリックして表示できます。
- をタップすると、リスト表示を消します。

2 **起動したいアプリケーションをタップする**

画面の表示内容を画像として保存する

ステータスバーの をタップすると、現在表示されている画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）できます。スクリーンキャプチャした画面は、加工して保存できます。

- が表示されていない場合や、設定／通知パネルを表示している場合は、スクリーンキャプチャができません。

- をタップすると操作アイコンが表示され、以下の操作ができます。

項目	説明
	ペンで入力します。
	ペンで入力した箇所を削除します。
	画面を切り抜きます。
	拡大表示したときの表示位置を移動します。
	操作を取り消します。
	操作をやり直します。
保存	画面を保存します。
	共有方法の選択や画面の設定ができます。

お知らせ

- キャプチャした画像は、本端末内の「ScreenCapture」フォルダーに保存されます。
- [icon] をロングタッチすると、画面を加工せずに保存します。また、クリップボードにも画面が保存されます。

起動中のアプリケーションを確認／終了する

1 [icon] →「タスクマネージャー」

タスクマネージャー画面

① タスクマネージャーを閉じます。

② タブが表示されます。
- 「起動中のアプリ」タブをタップすると、起動中のアプリケーションが表示されます。
- 「RAMマネージャー」タブをタップすると、RAMの使用状況が表示されます。「メモリーの消去」をタップすると、RAMの内容を消去します。

③ 起動中のアプリケーションが表示されます。 ⊗ をタップすると、アプリケーションを終了します。

④ 起動中のすべてのアプリケーションを終了します。

初期設定

お買い上げ後、初めて本端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従って以下の手順で使用する言語やGPSの位置情報の設定などを行います。

1 使用する言語を選択 →「開始」

2 Googleの位置情報サービスの使用を許可するかどうかを設定 →「次へ」
- ネットワークから日付・時刻情報を取得できないときや、ドコモUIMカードを取り付けていないときなどには、Googleの位置情報サービスの設定後、日時設定の画面が表示されます。表示された場合は、日時設定を行い、「次へ」をタップしてください。

3 Googleアカウントでログインする場合は「次へ」→ Googleアカウントを設定する

画面の指示に従ってログイン操作を行ってください。
- 「スキップ」をタップすると、初期設定を終了できます。
- 通信できない場合には、Googleアカウントのログインエラー画面が表示されます。「Wi-Fiに接続」をタップしてWi-Fiの設定（P.76）を行うか、「戻る」→「キャンセル」をタップして初期設定を終了してください。

4 バックアップと復元を設定 →「完了」

Wi-Fiを設定する

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Wi-Fiを有効にしてネットワークに接続する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fi設定」

Wi-Fi設定画面が表示されます。

2 「Wi-Fi」にチェックを付ける

利用可能なWi-Fiネットワークのスキャンが自動的に開始され、一覧表示されます。

- ネットワークが表示されない場合は、☰ →「スキャン」をタップすると再度検索できます。

3 接続したいWi-Fiネットワーク →「OK」

セキュリティで保護されているネットワークに接続する場合は、パスワードを入力し、「OK」をタップします。

- 入力したパスワードは「●」で表示されます。「パスワードを表示」にチェックを付けると、パスワードを表示できます。

静的IPアドレスを使用する場合

「IP設定」欄 →「静的」→ IPアドレス、ゲートウェイ、ネットワークプレフィックス長、DNS 1、DNS 2を設定します。

お知らせ

- 一度接続したネットワークのパスワードは自動的に保存され、次回の接続時の入力は不要になります。
- Wi-Fi機能がオンのときもパケット通信を利用できます。ただし、Wi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。

■ネットワークのパスワードを変更するには

1 **Wi-Fi設定画面で変更したいWi-Fiネットワークをロングタッチ →「ネットワーク設定を変更」**

2 **パスワードを入力 →「OK」**

- 入力したパスワードは「●」で表示されます。「パスワードを表示」にチェックを付けると、パスワードを表示できます。

Wi-Fiネットワークの接続を切断する

1 **Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fiネットワーク →「切断」**

アクセスポイントを設定する

- 接続に必要な情報は、お使いの無線ＬＡＮアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。社内ＬＡＮに接続する場合や公衆無線ＬＡＮサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。
- 無線LANアクセスポイントが、MACアドレス／IPアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、本端末のＭＡＣアドレス／ＩＰアドレスを無線ＬＡＮアクセスポイントに登録してください。ＭＡＣアドレス／ＩＰアドレスは、Ｗi-Fi設定画面で ☰ →「詳細設定」で確認できます。

1 **Wi-Fi設定画面で「Wi-Fiネットワークを追加」**

2 **ネットワークSSIDを入力する**

3 **「セキュリティ設定」欄 → 利用したい認証方法を選択する**

利用可能な認証方法は「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」です。
- 「なし」を選択した場合は、操作5に進みます。

4 **「パスワード」欄 → パスワードを入力する**

- 「802.1x EAP」を選択した場合は、EAP方法、フェーズ2 - 認証、CA証明書、ユーザー証明書、ID、匿名ID、パスワードを設定します。
- 入力したパスワードは「●」で表示されます。「パスワードを表示」にチェックを付けると、パスワードを表示できます。

5 **「保存」**

Wi-Fiオープンネットワークを通知する

利用可能なオープンネットワークが近くに存在している場合に通知するかどうかを設定します。

1 Wi-Fi設定画面で「ネットワーク通知」にチェックを付ける

- 利用可能なオープンネットワークが検出されると、ステータスバーに ? が表示されます。

Wi-Fiのスリープを設定する

本端末の画面がオフに切り替わったときにWi-Fiを無効にしたり、充電時には常に有効になるように設定したりできます。

1 Wi-Fi設定画面で「Wi-Fiのスリープ設定」→ スリープ設定を選択する

オンラインサービスアカウントを設定する

Facebook、LinkedIn、mixi、Twitter、Googleなどオンラインサービスのアカウントを設定し、本端末と各種サービスのサーバとの間でデータの同期や送受信ができます。

- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定し、Microsoft Exchange Server 2010（および以前のバージョン）と同期させることもできます。

お知らせ

- 各アカウントの設定は、インターネットに接続できる環境で行ってください。
- 本端末をご利用になる国・地域によっては、自動同期などの機能が利用できない場合があります。
- 各アカウントの取得方法については、以下のホームページをご覧ください。
  - docomo アカウント：http://www.nttdocomo.co.jp/
  - Facebookアカウント：http://www.facebook.com/
  - LinkedInアカウント：http://www.linkedin.com/
  - mixiアカウント：http://mixi.jp/
  - Twitterアカウント：http://www.twitter.com/
  - Googleアカウント：http://www.google.co.jp/
- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合は、設定情報などについてネットワーク管理者にお問い合わせください。

同期の設定を行う

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「アカウントと同期」

2 設定したい項目にチェックを付ける

項目	説明
バックグラウンドデータ	本端末にインストールされているすべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行います。
自動同期	Gmailやカレンダー、連絡先などGoogleアプリケーションのデータが自動的に同期します。

アカウントを設定する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「アカウントと同期」

2 「アカウントを追加」→ 追加したいアカウントの種類をタップする

- Exchangeサーバとデータの同期・転送を行うためのExchangeアカウントを設定する場合は、「Microsoft Exchange ActiveSync」をタップします。

Social Hubの契約条件画面が表示された場合

国を選択 →契約条件を確認 →「上記の契約条件全てに同意します。」にチェックを付ける →「同意」をタップします。

3 画面の指示に従って設定する

ログインが必要なオンラインサービスの場合は、メールアドレスやパスワードなどを入力して「ログイン」をタップします。

お知らせ

- 登録済みのアカウントを修正する場合は、アカウントを削除してから登録し直してください。
- 同期させる項目を変更するには、「アカウントと同期」画面でアカウントをタップ → 同期させる項目のみチェックを付けます。
- 手動で同期させる場合は、「アカウントと同期」画面で同期させたいアカウント → をタップします。

■ Samsungアカウントについて

SamsungDiveを利用して、本端末をリモートコントロールすることもできます。

- SamsungDiveの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  http://www.samsungdive.com

お知らせ

- Samsungアカウントを設定すると、「システムメモリー（本体）を初期化」（P.223）を実行できません。「システムメモリー（本体）を初期化」を実行する場合は、Samsungアカウントを削除してから操作してください。
- Samsungアカウントの削除には、Samsungアカウントのパスワードが必要になるため、設定したパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。また、パスワードを忘れた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

アカウントを削除する

登録したアカウントを削除すると、本端末に保存されたアカウントのデータ（メッセージや連絡先、設定など）も削除されます。

- サーバに保存されたデータは削除されません。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「アカウントと同期」

2 削除したいアカウントをタップ →「アカウントを削除」→「アカウントを削除」

お知らせ

- 登録されているアカウントによっては、削除できない場合があります。
- Google アカウントを削除するには、「システムメモリー（本体）を初期化」（P.223）を実行してください。

相手に自分の電話番号を通知する

- 電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。
- 圏外では発信者番号通知設定の操作は行えません。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「通話」→「発信者番号通知」

2 「開始」→「OK」
- 電話番号を非通知に設定するには、「停止」→「OK」をタップします。
- 現在の設定を確認するには、「設定確認」をタップします。

画面表示／アイコン

ステータスバーについて

ディスプレイ下部のステータスバーには、操作アイコンや、本端末の状態や通知情報などを示すアイコンが表示されます。

① 直前に表示していた画面に戻ります。また、アプリケーションを終了します。
- が表示されているときは、キーボードなどを消します。

② ホーム画面に戻ります。
- ロングタッチすると、タスクマネージャー（P.73）を起動します。

③ 最近使用したアプリケーションの一覧を表示します（P.70）。
- ロングタッチすると、アプリケーション画面を表示します（P.135）。

④ マルチファンクションキー：画面の表示内容を画像として保存します（P.70）。
- クイック起動で項目を変更した場合、表示されるアイコンは機能に応じて変更されます（P.211）。

⑤ 表示中のアプリケーションの状態に応じたオプションメニューを表示します。
- アプリケーションによってはステータスバーから操作できません。

⑥ 操作中のアプリケーションを表示しながら起動できるミニアプリケーションの一覧を表示します。
「電話」：電話を起動します（P.145）。
「SMS」：SMSを起動します（P.232）。
「タスクマネージャー」：タスクマネージャーを起動します（P.73）。
「ペンメモ」：ペンメモを起動します（P.324）。
「カレンダー」：カレンダーを起動します（P.316）。
「音楽プレーヤー」：音楽プレーヤーを起動します（P.300）。
「電卓」：電卓を起動します（P.320）。
「世界時計」：世界時計を起動します（P.320）。

⑦ 通知情報があるときに通知アイコンが表示されます。
- タップすると、通知内容の確認や各種操作ができます。

⑧ 時刻と本端末の状態を示すステータスアイコンが表示されます。
- タップすると、設定／通知パネルを表示できます（P.93）。

お知らせ

- 起動中のアプリケーションによっては、異なる操作アイコンが表示される場合や、（グレーの円）が表示される場合があります。 が表示されている場合は、タップすると操作アイコンが表示されます。
- ミニアプリケーションの一覧は、変更や削除ができません。

ステータスバーに表示される主なアイコン

通知アイコン	
（緑）	通話中
	保留中通話あり
	不在着信あり
（青）	Bluetoothデバイス（ヘッドセットなど）で通話中
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり／SMSの送達通知あり
	SMSの配信に問題あり

通知アイコン	
	新着インスタントメッセージあり
	データダウンロード中／完了、アプリケーションダウンロード中 • ダウンロード中は、矢印の部分がアニメーション表示されます。
	データアップロード中／完了 • アップロード中は、矢印の部分がアニメーション表示されます。 • Bluetooth通信による複数の画像のアップロード中は、アップロード未完了の画像数が数字で表示されます。
	Picasaなどにデータアップロード完了
	留守番電話サービスの伝言メッセージあり
	アラームあり
	カレンダーなどのアラームあり
	バックグラウンドで音楽再生中／一時停止中

通知アイコン	
	USB接続中
	エラーメッセージあり
	Androidマーケットからインストール済みアプリケーションのアップデートあり
	アプリケーションのインストール完了
	Googleマップナビでナビゲーション中
	Bluetooth通信でのデータ受信承認待ち
	キーボード表示中
	USBテザリング機能ON
	Wi-Fiテザリング機能ON
	USBテザリング機能とWi-Fiテザリング機能を同時にON

通知アイコン	
	AllShare起動中
	Pulseの新着ニュースあり
/	GPS機能現在地測位完了／測位中
	画面を拡大表示できるアプリケーションを表示中 • タップするとメニューが表示され、「通常表示」／「拡大表示」をタップして表示を切り替えられます。 • アプリケーションを起動してズーム機能の説明が表示された場合は、「OK」をタップすると操作できます。
	通知情報を非表示に設定中
/	VPN接続中／VPN未接続
	Wi-Fi Direct利用中
	省電力モード設定中
	本端末の空き容量低下

ステータスアイコン	
⇔ （弱　強）	電波レベル
	電波レベル（国際ローミング中）
	圏外
/	GPRS使用可能／ GPRS通信中 （送信／受信中は矢印が緑色、待機中は矢印がグレー）
/	FOMAハイスピード使用可能／ FOMAハイスピード通信中 （送信／受信中は矢印が緑色、待機中は矢印がグレー）
/	3G使用可能／ 3G通信中 （送信／受信中は矢印が緑色、待機中は矢印がグレー）
/	Wi-Fi使用可能／通信中 （送信／受信中は矢印が緑色、待機中は矢印がグレー）
	Bluetooth機能有効
	Bluetoothデバイスと接続中

ステータスアイコン	
	機内モード設定中
⇔ （低　高）	電池レベル
/	充電中／ USB 接続ケーブルでパソコンと接続して充電中 • パソコンと接続して充電中は、本端末の状態により、充電に時間がかかる場合や、充電できない場合があります。
	アラーム設定中

設定／通知パネルについて

ステータスバーの時刻表示やステータスアイコンをタップすると設定／通知パネルが表示され、アイコンをタップして機能を設定したり、通知情報などを確認したりすることができます。

設定／通知パネルの表示内容（表示例）

① 時刻、日付、電池残量、接続中のネットワークの通信事業者名などが表示されます。
- ☒をタップすると、設定／通知パネルを閉じます。

② 各種設定を変更します。
「Wi-Fi」：Wi-Fi機能の有効／無効を切り替えます。
「通知」：通知情報の表示／非表示を切り替えます。
「GPS」：GPS機能の有効／無効を切り替えます。
「サウンド」／「バイブ」：「サウンド」に切り替えると各種音量をONに、「バイブ」に切り替えると各種音量をOFFにして振動（バイブレーション）を設定します。
「自動回転」：ディスプレイの自動回転の有効／無効を切り替えます（P.69）。
「Bluetooth」：Bluetooth機能の有効／無効を切り替えます（P.277）。
「機内モード」：機内モードの有効／無効を切り替えます。
- 左右にスライドすると、非表示の設定項目を表示できます。
- 有効に設定されているアイコンは、黄色で表示されます。

③ ディスプレイの明るさを調整します（P.211）。
- 「オート」にチェックを付けると、明るさが自動的に調整されます。

④ 設定メニューを表示します（P.191）。

⑤ EメールやSMSの受信などの通知情報が表示されます。
- ☒ をタップすると、通知情報を消します。

アクションバーについて

アプリケーションを起動すると画面上部にアクションバーが表示され、タブや操作アイコンなどが表示されます。

- 表示中のアプリケーションによって、アクションバーの表示内容は異なります。

アクションバーの表示内容（表示例）

① 表示中のアプリケーションのアイコンが表示されます。
② タブやアカウント名などが表示されます。
③ 表示中の画面で操作できる操作アイコンが表示されます。
④ メニューを表示します。

文字入力

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボードを表示します。文字入力用のキーボードには、以下の４種類があります。

- Androidキーボード※
- Samsung keypad（日本語不可）
- Samsung日本語キーボード
- Swype

※「英語（米国）のキーボード」または「日本語の音声」を選択できます。

お知らせ

- Androidキーボード、Samsung keypad（日本語不可）は、日本語入力ができません。ただし、Androidキーボードの場合は入力方法（P.103）で「日本語の音声」にすると、音声で日本語を入力できます。
- 使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリケーションや機能専用のキーボードが表示される場合があります。

キーボードの種類（入力方法）を切り替える

1 キーボード表示中にステータスバーの ▦

2 利用したい入力方法をタップする

お知らせ

- ▽ をタップすると、キーボードを非表示にします。
- ▦ →「入力方法を設定」をタップすると、文字入力／変換機能を設定できます（P.118）。
- 各入力方法の右側に表示されている ☷ をタップすると、選択した入力方法の設定を変更できます。
- 文字入力欄をタップして表示されるキーボードの種類は、「現在の入力方法」（P.226）で選択されているキーボードが表示されます。ただし、文字入力中に入力方法を切り替えると、次回に表示されるキーボードの種類は、最後に使用したキーボードが表示されます。

Samsung日本語キーボードで入力する

パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードを利用して、文字を入力できます。日本語を入力するには、ローマ字入力で行います。

ひらがな漢字入力モード

半角英字入力モード

① 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 半角英字入力モードの場合、英語予測変換をOFFにしていると表示されません。
- ひらがな漢字入力モードの場合、予測変換をOFFに設定しているときや、予測変換候補の表示中に「変換」をタップすると、通常変換候補が表示されます。
- ＜／＞をタップすると、表示しきれない候補を表示できます。

② カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

③ Caps LockをON／OFFにします。
- Caps LockをONにすると、ひらがな漢字入力モードの場合は、キーの上に表示されている記号を入力できます。半角英字入力モードの場合は、大文字入力に固定されます。

④ 入力した文字を確定します。
- ↵が表示されている場合は改行します（文字入力欄によっては改行できません）。
- 「次へ」が表示されている場合は、次の入力欄にカーソルを移動します。
- 「完了」が表示されている場合は、入力を完了します。
- 「実行」が表示されている場合は、入力したURLのウェブページに移動します。

⑤ タップするとキーが [icon] に変わり、最初の1文字だけ大文字入力にします。
- 記号のキーをタップした場合は、キーの上に表示されている記号を入力できます。
- 2回タップするとキーが [icon] に変わり、Caps LockがONになります。3回タップすると小文字入力に戻ります。
- 数字入力モードに切り替えると [icon] が表示され、タップするとキーの表示を切り替えられます。

⑥ 数字入力モードに切り替えます。
- ひらがな漢字を入力できる入力欄の場合は全角数字入力モード、それ以外の入力欄の場合は半角数字入力モードに切り替わります。
- 数字入力モード中は ABC に表示が変わり、タップすると数字入力モードに切り替える前の入力モードに戻ります。

⑦ 設定メニューを表示します。
- 「各種設定」：Samsung日本語キーボードの設定を変更できます（P.118）。
- 「入力モード切替」：入力モードを切り替えます（P.102）。
- 「入力方法」：キーボードの種類を切り替えます（P.97）。

⑧ タップするごとに、ひらがな漢字入力モードと半角英字入力モードを切り替えます。
- ロングタッチすると入力モードを切り替えられます（P.102）。
- 数字入力モードにするとが 半角全角 表示され、全角と半角を切り替えられます。

⑨ 通常変換候補を表示します。
- ␣が表示されている場合は、スペースを入力できます。

⑩ カーソルを左右に移動します。
- 入力した文字の確定前にタップすると、変換する文字列の範囲を変更できます。

⑪ 絵文字／記号／顔文字の一覧を表示します。
- タブをタップして一覧を切り替えます。
- 「戻る」をタップすると、一覧を非表示にします。

⑫ クリップボードを表示して、文字や画像などを貼り付けます（P.117）。

⑬ ドメインなどの一覧を表示します。
- www. が表示されている場合は、「www.」を入力できます。
- 文字入力欄によっては表示されません。

お知らせ

- キーボードの表示は、選択中の入力欄や文字の入力状態によって異なります。

入力モードを切り替える

1 キーボード表示中に ⚙ →「入力モード切替」

2 利用したい入力モードをタップする

ワイルドカード予測を利用する

ワイルドカード予測とは、単語などの読みの文字数を入力して、変換候補を絞り込む機能です。

- ワイルドカード予測は、日本語の場合は「日本語予測変換」と「日本語ワイルドカード予測」をＯＮに、英語の場合は「英語予測変換」と「英語ワイルドカード予測」をＯＮにすると利用できます。

例：「東京都」を入力する場合

1 キーボード表示中に「と」「う」を入力する

2 ➡ を４回タップする

入力欄に「とう○○○○」が表示され、予測変換候補に「東京都」が表示されます。

読みの文字数を変更する場合

⬅ ／ ➡ をタップします。

3「東京都」

Androidキーボードで入力する

入力方法（P.97）で「英語（米国）のキーボード」を選択すると、パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードを利用して、文字を入力できます。また、入力方法で「日本語の音声」を選択すると、音声で日本語を入力できます。
ここでは、「英語（米国）のキーボード」での入力方法を説明します。

- Androidキーボードは「英語（米国）のキーボード」または「日本語の音声」を選択できます。他の言語のキーボードに切り替えることもできます。
- 「日本語の音声」以外のAndroidキーボードでは、日本語は入力できません。

アルファベット（大文字）入力モード

① 記号の一覧が表示され、文字を入力すると修正候補が表示されます。記号や候補をタップすると入力できます。
- 入力欄によっては記号の一覧が表示されません。
- 「修正候補を表示する」が「常に非表示」の場合は、記号の一覧や修正候補が表示されません。
- 「修正候補を表示する」が「縦向きで表示」の場合は、本端末を縦表示にしているときのみ修正候補が表示されます。

② カーソルの左側にある文字や記号を削除します。

③ 改行します。
- 入力欄によっては、タップすると次の入力欄にカーソルを移動します。

④ 大文字で文字を入力します。タップするとキーが ⇧ に変わり、小文字で文字を入力します。
- 数字・記号入力モードでは More が表示され、キーに表示されている数字や記号を切り替えます。

⑤ 顔文字を入力します。
- ロングタッチすると、顔文字の一覧が表示されます。

⑥ 数字・記号入力モードに切り替えます。
- 数字・記号入力モードでは ABC が表示され、タップするとアルファベット入力モードに切り替わります。

⑦ .com が表示されている場合、「.com」を入力できます。ロングタッチするとドメインの一覧が表示されます。

⑧ スペースを入力します。

⑨ 音声で文字を入力します。

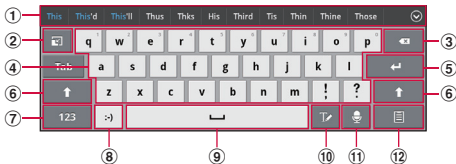
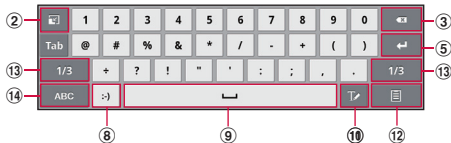
- 「設定キーを表示」が「常に表示」の場合には が表示され、入力オプションを表示します。
  「入力言語」：他の言語のキーボードに切り替えられます。
  「Androidキーボードの設定」：Androidキーボードの設定を変更できます（P.120）。

お知らせ

- キーボードの表示は、選択中の入力欄や文字の入力状態によって異なります。

Samsung keypad（日本語不可）で入力する

パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードを利用して、文字を入力できます。また、文字や数字を手書きで入力することもできます。

- 日本語は入力できません。

半角英字入力モード

半角数字・記号入力モード

① XT9をONに設定すると入力候補が表示され、候補をタップすると文字を入力できます。
- をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の表示を拡大できます。「Add word」をタップすると、単語などをXT9 my wordsに登録できます。 をタップすると、元の表示に戻します。

② キーパッドを縮小表示します。
- をタップすると元のサイズに戻ります。

③ カーソルの左側にある文字や記号を削除します。

④ 文字や記号を入力します。
- ロングタッチすると、キーに割り当てられている文字や記号の一覧が表示されます。

⑤ 改行します。
- 「Next」が表示されている場合は、次の入力欄にカーソルを移動します。
- 「Done」が表示されている場合は、入力を完了します。
- 「Go」が表示されている場合は、入力したURLのウェブページに移動します。

⑥ タップするとキーが に変わり、最初の1文字だけ大文字入力にします。
- 記号のキーをタップした場合は、キーの上に表示されている記号を入力できます。
- 2回タップするとキーが に変わり、大文字入力に固定されます。3回タップすると小文字入力に戻ります。

⑦ 半角数字・記号入力モードに切り替えます。

⑧ 顔文字を入力します。
- ロングタッチすると顔文字の一覧を表示できます。

⑨ スペースを入力します。
- 入力欄によっては、スペースキーの横幅が狭くなり、他のキーが表示される場合があります。

⑩ 手書きキーパッドを表示します（P.109）。

⑪ 音声で文字を入力します。
- Samsung keypad（日本語不可）の設定で「Voice input」にチェックを付けた場合に表示されます（P.121）。

⑫ クリップボードを表示して、文字や画像などを貼り付けます（P.117）。

⑬ キーパッドの表示を切り替えます。

⑭ 半角英字入力モードに切り替えます。

お知らせ

- キーボードの表示は、選択中の入力欄や文字の入力状態によって異なります。

手書きキーパッドで入力する

手書きで半角英数字や記号を入力します。

- [icon] をタップして手書きキーパッドを表示すると、Gesture guideが表示されます（Gesture guideは英語で表示されます）。「OK」をタップすると入力を開始できます。次回手書きキーパッドを表示したときにGesture guideを表示しない場合は、「Don't show again」にチェックを付けて「OK」をタップします。

手書きキーパッド

① 入力候補が表示されます。
- 「Recognition type」（P.124）を「Complete recognition」に設定している場合は、入力候補をタップして⑦のキーをタップすると、入力を確定して入力欄に文字を入力できます。「Recognition type」を「Stroke recognition」に設定している場合は、入力候補をタップすると入力を確定できます。
- をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の表示を拡大できます。「Add word」をタップすると、単語などをXT9 my wordsに登録できます。 をタップすると、元の表示に戻します。
- 入力欄によっては、「@」や「.com」などの入力ボタンが表示されます。記号や顔文字の一覧を表示します。

② 記号や顔文字の一覧を表示します。

③ Samsung keypad（日本語不可）の設定を変更できます（P.121）。
- をロングタッチすると、入力方法を切り替えられます。
- Samsung keypad（日本語不可）の設定で「Voice input」にチェックを付けた場合に、 が表示され、音声で文字を入力します。

④ 入力言語を切り替えられます。
「Input language」（P.121）で複数の入力言語を設定している場合に選択できます。

⑤ 半角英字入力モードと半角数字入力モードを切り替えます。

⑥ スペースを入力します。
- 「Input language」（P.121）で複数の入力言語を設定している場合、キー上を左右にスライドすると入力言語を切り替えられます。

⑦ カーソルの左側にある文字や記号を削除します。

⑧ 文字が入力されていない場合は、改行します。
- 文字入力中の場合は、タップした入力候補を確定して、入力欄に文字を入力できます。
- 「Next」が表示されている場合は、次の入力欄にカーソルを移動します。
- 「Done」が表示されている場合は、入力を完了します。
- 「Go」が表示されている場合は、入力したURLのウェブページに移動します。

⑨ キーボードに切り替えます。

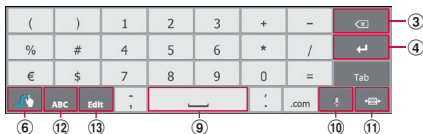
⑩ クリップボードを表示して、文字や画像などを貼り付けます（P.117）。

⑪ ここに手書きで文字や数字を入力します。

Swypeで入力する

キーボードから指を離さずに、入力したい文字列の順に目的のキー上をスライドして文字を入力できます。例えば「うみ」と入力する場合は、キーを「u」→「m」→「i」の順にスライドします（文頭などでは、先頭文字が自動的に大文字になる場合があります）。

- 入力したいキーをタップしても、文字や記号を入力できます。
- Swypeの使いかたについては、「Swypeの使い方」（P.126）をご覧ください。

ひらがな漢字入力モード

数字入力モード

① 単語候補が表示され、候補をタップすると文字を入力できます。
- 単語候補をOFFにしていると表示されません。

② 入力言語を切り替えます。
- ロングタッチすると、利用する言語を選択できます。

③ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

④ 改行します。
- 入力欄によっては、タップすると次の入力欄にカーソルを移動します。

⑤ 大文字と小文字を切り替えます。
- 記号入力モードでは 1/2 が表示され、キーボードの表示を切り替えられます。

⑥ Swypeの設定を変更できます。
- Swype入力言語が日本語以外の言語に設定されている場合にタップすると、「「○○」を辞書に追加」（○○にはカーソル位置にある単語）と表示されます。Swype入力言語が日本語の場合、個人辞書の登録はできません。
- ロングタッチするとSwype 設定画面が表示されます。

⑦ 記号入力モードに切り替えます。
- 記号入力モードで ABC をタップすると、英字入力モードに切り替わります。

⑧ 数字入力モードに切り替えます。

⑨ スペースを入力します。

⑩ 音声で文字を入力します。

⑪ キーボードを縮小表示します。
- 縮小表示されたキーボードの左端／右端を左右にドラッグすると、キーボードを移動できます。
- をタップすると元のサイズに戻ります。

⑫ 英字入力モードに切り替えます。

⑬ エディットキーボードに切り替え、文字列の選択やコピー、カット、貼り付けなどの操作ができます。

お知らせ

- 各キーをタップすると、キーに割り当てられている英字／数字／記号を入力できます。また、各キーをロングタッチすると、キーに割り当てられている数字／記号の一覧が表示されます。
- キーボードの表示は、選択中の入力欄や文字の入力状態によって異なります。

文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付ける

1 **キーボード表示中に入力した文字列をロングタッチする**

画面上部に操作ボタンが、文字列には ／ が表示されます。

2 **／ をドラッグして範囲を選択する**

- 「全て選択」をタップすると、入力した文字列をすべて選択できます。

3 **「カット」／「コピー」**

4 **貼り付けたい入力欄をタップ → をドラッグして貼り付けたい位置にカーソルを移動 → → 「貼り付け」**

- 文字列が入力されていない入力欄の場合は、入力欄をロングタッチすると と「貼り付け」／「クリップボード」が表示されます。
- 入力した文字列をロングタッチして「貼り付け」をタップすると、選択した範囲の文字列を、直前にコピー／切り取りした文字列に置き換えられます。
- 入力した文字列をロングタッチして「クリップボード」または をタップすると、選択した範囲の文字列を、クリップボードから選択した文字列などに置き換えられます（P.117）。

お知らせ

- Eメールのメッセージ欄の場合は、入力した文字列をロングタッチすると、画面上部に操作ボタンが表示されます。操作ボタンをタップすると次の操作ができます（操作の状態によっては、画面上部の操作ボタンをタップして表示されるメニュー項目の表示が異なります）。
  - 「全て選択」：入力した文字列をすべて選択します。
  - 「テキストを選択」：入力した文字列を選択します。
  - 「全て切り取り」：入力した文字列をすべて切り取ります。
  - 「全てコピー」：入力した文字列をすべてコピーします。
  - 「カット」：選択した文字列を切り取ります。
  - 「コピー」：選択した文字列をコピーします。
  - 「貼り付け」：切り取った／コピーした文字列を貼り付けます。
  - 「戻す」：実行した操作を元に戻します。
  - 「再実行」：「戻す」で実行した操作を元に戻します。
- 入力欄によっては操作できない場合があります。

クリップボードの操作を行う

本端末でコピーや切り取り、スクリーンキャプチャ（P.70）などの操作でクリップボードに記録されたデータを、選択して貼り付けることができます。

- キーボードの種類によっては操作できません。

1 キーボード表示中に ▤

クリップボードのデータを保存する場合

「保存」→ 保存したいデータの ▤ をタップします。
- 保存の操作を終了するには「完了」をタップします。

クリップボードのデータを削除する場合

「編集」→ 削除したいデータの − をタップします。
- 削除の操作を終了するには「完了」をタップします。

クリップボードのデータを保持する場合

「編集」→ 保持したいデータの 🔒 をタップします。
- 保持の操作を終了するには「完了」をタップします。

クリップボードを閉じる場合

⌄ をタップします。

文字入力／変換機能を設定する

Samsung日本語キーボードの設定を行う

Samsung日本語キーボードを利用して文字を入力する際の入力動作の設定や、ユーザー辞書の登録などができます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「言語と文字入力」→「入力方法を設定」→「Samsung日本語キーボード」欄の「設定」

2 設定したい項目をタップする

項目	説明
キー操作音	キーをタップしたとき、タップ音を鳴らすかどうかを設定します。
自動大文字変換	英字を入力したとき、文頭の文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。
日本語候補学習	変換で確定した日本語の語句を学習辞書に保存させるかどうかを設定します。
日本語予測変換	日本語の予測変換をONにするかどうかを設定します。

項目	説明
日本語ワイルドカード予測※1	日本語のワイルドカード予測（P.102）を利用するかどうかを設定します。
英語候補学習	変換で確定した英語の語句を学習辞書に保存させるかどうかを設定します。
英語予測変換	英語の予測変換をONにするかどうかを設定します。
入力ミス補正※2	入力を間違えたとき、変換候補に修正候補を表示させるかどうかを設定します。
英語ワイルドカード予測※2	英語のワイルドカード予測（P.102）を利用するかどうかを設定します。
自動スペース入力	英文入力モードで予測変換候補／通常変換候補を選択したとき、自動的にスペースを入力するかどうかを設定します。
日本語ユーザー辞書	日本語ユーザー辞書に単語などを登録します。
英語ユーザー辞書	英語ユーザー辞書に単語などを登録します。
学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて削除します。
iWnn IME for Samsung	Samsung日本語キーボードのバージョンを確認します。

※1　日本語予測変換がOFFの場合は設定できません。
※2　英語予測変換がOFFの場合は設定できません。

Androidキーボードの設定を行う

Androidキーボードを利用して文字を入力する際の入力動作の設定などができます。

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「言語と文字入力」→「入力方法を設定」→「Androidキーボード」欄の「設定」**

有効な入力方法を設定する場合

ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「言語と文字入力」→「入力方法の設定」→「Androidキーボード」欄の「入力方法を有効」→「システム言語を使用」のチェックを外す → 利用したいキーボードにチェックを付けます。

- 有効にしたキーボードは、キーボードの種類（入力方法）を切り替えるときに選択できます（P.97）。

2 **設定したい項目をタップする**

項目	説明
自動大文字変換	文頭の文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときに本端末を振動させるかどうかを設定します。
キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
設定キーを表示	設定キーを常に表示させるかどうかを設定します。

項目	説明
自動修正	誤入力した文字をスペースキーまたは句読点キーをタップして修正させるかどうかを設定します。
修正候補を表示する	修正候補の表示方法を設定します。

Samsung keypad（日本語不可）の設定を行う

Samsung keypad（日本語不可）を利用して文字を入力する際の入力動作の設定などができます。

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「言語と文字入力」→「入力方法を設定」→「Samsung keypad（日本語不可）」欄の「設定」**

2 **設定したい項目をタップする**

項目	説明
Input language	入力言語を設定します。
XT9	XT9（予測変換）をONにするかどうかを設定します。

項目		説明
XT9 advanced settings※	Word completion	「Word completion point」で設定した文字数を入力したとき、単語などの予測変換候補を表示するかどうかを設定します。
	Word completion point	予測変換候補を表示するポイント（文字数）を設定します。
	Spell correction	入力を間違えたとき、自動的に正しいスペルに修正するかどうかを設定します。
	Next word prediction	入力を確定した単語などに続くと予測される語句の候補を、表示するかどうかを設定します。
	Auto-substitution	XT9 auto-substitutionで登録したショートカットを入力したとき、自動的に代替に登録した単語などに変換するかどうかを設定します。
	Regional correction	間違ったキーをタップして単語を入力したとき、タップしたキー周辺の文字を考慮して、正しい単語を予測変換候補に表示するかどうかを設定します。

項目		説明
XT9 advanced settings※	Recapture	予測変換候補から単語を選択して入力を確定したとき、[×]を2回タップして変換をやり直せるようにするかどうかを設定します。
	XT9 my words	XT9に単語などを登録します。
	XT9 auto-substitution	XT9に自動変換する単語などを登録します。
Automatic full stop		スペースを2個連続で入力した際に、自動的にピリオド+スペースに変換するかどうかを設定します。
Sound on keypress		キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
Auto-capitalization		文頭の文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。
Voice input		音声で文字を入力できるようにするかどうかを設定します。

項目		説明
Handwriting settings	Recognition time	手書き入力してから入力候補が表示されるまでの時間を設定します。
	Pen thickness	ペンの太さを設定します。
	Pen color	ペンの色を設定します。
	Recognition type	手書き入力の認識方法を設定します。 ・「Stroke recognition」は、アルファベットを一筆書きのように入力しても認識されます。手書き入力した文字は、手書きキーパッドには表示されず、入力欄に直接入力されます。 ・「Complete recognition」は、アルファベットを1文字ずつ区切って入力しないと認識されません。
	Gesture guide	ジェスチャー操作の方法を確認します。 ・「Recognition type」を「Stroke recognition」に設定した場合や、入力欄によっては、一部のジェスチャー操作ができない場合があります。 ・Gesture guideは英語で表示されます。
	About	手書き入力のバージョンなどを確認します。

項目	説明
Tutorial	Samsung keypad（日本語不可）のチュートリアルを表示して、使いかたを確認します。 • チュートリアルは英語で表示されます。

※ XT9がOFFの場合は設定できません。

Swypeの設定を行う

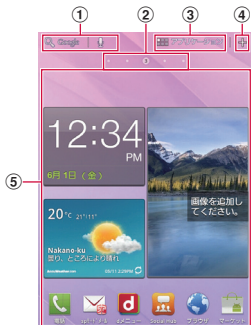
1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「言語と文字入力」→「入力方法を設定」→「Swype」欄の「設定」

2 設定したい項目をタップする

項目		説明
入力方法を選択		キーボードを切り替えます。
Swypeの使い方		Swypeのチュートリアルを表示して、使いかたを確認します。
個人辞書		単語などを登録します。
優先設定	音声フィードバック	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
	バイブレーション設定	キーをタップしたときに本端末を振動させるかどうかを設定します。
	ヒントを表示	単語候補から青色に表示された候補を2回連続で選択したときなど、特定の操作を行ったときにSwypeのヒントを表示するかどうかを設定します。

項目		説明
優先設定	軌道を完全に表示	指でスライドした軌道を表示し続けるかどうかを設定します。
	速度または精度	文字を入力する際の反応速度を設定します。
	Swypeの辞書をリセット	個人辞書に登録した単語などをすべてリセットします。
	バージョン	Swypeのバージョンを確認します。
言語オプション		入力言語を設定します。

ホーム画面

本端末の電源を入れて起動が完了すると、ホーム画面が表示されます。

ホーム画面の表示内容

① 本端末内やインターネットの情報を検索します（P.132）。

② ホーム画面の位置が表示されます（現在表示中のホーム画面の位置には数字が表示されます）。
- 5枚のホーム画面が用意されており、左右にスクロール／フリックして切り替えられます。
- 横向きに表示中の場合は、画面の左端／右端をタップしても切り替えられます。

③ アプリケーション画面を表示します（P.135）。

④ ホーム画面のカスタマイズ画面を表示します（P.130）。

⑤ ホーム画面のカスタマイズ画面で登録したウィジェットやアプリケーションのショートカットなどが表示されます。

お知らせ

- ウィジェットやショートカットは、任意のホーム画面に追加できます。
- 本書では、ホーム画面にショートカットがあらかじめ追加されているアプリケーションの起動を、ショートカットをタップする操作手順で記載しています。

ホーム画面をカスタマイズする

任意のホーム画面にウィジェットやアプリケーションのショートカットなどを追加したり、ホーム画面やロック中画面の壁紙を変更したりできます。

1 ホーム画面で ＋

ホーム画面のカスタマイズ画面

① ホーム画面が縮小表示されます。

② 追加／変更する項目がタブ表示されます。
- 「その他」タブには、ウィジェットやアプリケーション以外でホーム画面に追加できる、ブックマークや連絡先などの項目が表示されます。

③ 選択中のタブに登録されている項目が表示されます。
- 表示しきれない項目がある場合は、左右にスライド／フリックするか画面の左端／右端をタップすると表示できます。

2 操作するタブをタップ → 追加／変更の操作を行う

ウィジェット／ショートカットを追加する場合

「ウィジェット」／「アプリショートカット」／「その他」→ 追加したい項目をロングタッチ → 任意の縮小表示されたホーム画面までドラッグします。
- 「その他」の項目によっては、ドラッグした後に追加するデータなどの選択操作が必要な場合があります。画面の指示に従って操作してください。

壁紙を変更する場合

壁紙の種類をタップ →「ホーム画面の壁紙」／「ロック画面の壁紙」→ 変更したい壁紙をタップします。
- 「ライブ壁紙」はロック画面の壁紙には設定できません。変更したい画像をタップした後、「壁紙を設定」をタップしてください。

ホーム画面からショートカットやウィジェットを削除／移動する

例：削除する場合

1 **ホーム画面上の削除したいウィジェットやショートカットをロングタッチする**

ホーム画面右上の ＋ が「削除」に変更されます。

2 **そのまま「削除」までドラッグして離す**

- 「削除」までドラッグし、ウィジェットやショートカットが赤く表示されたら離してください。

移動する場合

移動したい位置までドラッグして離します。

検索する

ホーム画面の左上に表示される Google をタップすると、文字で検索語を入力することで、本端末内に保存されているアプリケーションや連絡先などのデータや、インターネットの情報を検索できます。また、ホーム画面の 🎤 をタップすると、音声で検索語を入力して、インターネットの情報を検索できます。

文字検索する

1 ホーム画面で Google

検索画面が表示されます。

- アプリケーション画面で「Google検索」をタップしても、検索画面を表示できます。
- Google検索の利用規約画面が表示された場合は、画面の指示に従って確認・設定を行ってください。

2 検索したい文字を入力する

インターネット情報の検索候補が入力欄の下にリスト表示されます。本端末内データの検索候補がある場合は、画面の右側にリスト表示されます。

- 検索をやり直すには ☒ をタップします。

3 ▶ ／リストから検索対象をタップする

選択した検索対象に適したアプリケーションで、内容が表示されます。

- インターネット情報の検索候補、または ▶ をタップした場合はブラウザが起動し、検索候補が表示されます。

お知らせ

- 検索画面で ☰ →「検索設定」をタップすると、検索対象やGoogle検索の設定ができます。
- 検索画面で ☰ →「ヘルプ」をタップすると、Google検索のヘルプを確認できます。
- 音声検索に切り替える場合は、🎤 をタップします。

音声検索する

1 ホーム画面で 🎤

「お話しください」と表示された音声検索の画面が表示されます。

- アプリケーション画面で「音声検索」をタップしても、検索画面を表示できます。

2 マイクに向かって検索語を話す

検索候補がリスト表示されます。

- 検索候補が1件のみの場合は、検索語が入力されたGoogleホームページが表示されます。

3 リストから検索対象をタップする

検索語が入力されたGoogleホームページが表示されます。

お知らせ

- 音声検索の画面で ☰ →「設定」をタップすると、Google音声認識の設定ができます。

アプリケーション画面

本端末の機能やアプリケーションは、アプリケーション画面にアイコンで表示され、タップして起動したり、設定を確認したりすることができます。

アプリケーション画面を表示する

1 ホーム画面で「アプリケーション」

① タブが表示されます。
- 「全て」タブをタップすると、本端末に保存されているすべてのアプリケーションが表示されます。
- 「マイアプリ」タブをタップすると、任意にインストールしたアプリケーションが表示されます。

② Androidマーケットを表示します。

③ アプリケーションのアイコンが表示されます。

④ アプリケーション画面の表示位置が表示されます（現在表示中のアプリケーション画面の位置には数字が表示されます）。
- アプリケーション画面が複数ある場合は、左右にスライド／フリックして切り替えられます。
- アイコンをロングタッチすると、縮小表示されたホーム画面が表示され、アイコンをドラッグするとドラッグした位置のホーム画面にショートカットを追加できます。

お知らせ

- 本書では、アプリケーション起動時の操作手順は、アプリケーション画面の「全て」タブからの操作で説明しています。アプリケーション画面に目的のアプリケーションが表示されていない場合は、タブや画面を切り替えてください。
- アイコンをロングタッチすると画面右上の「マーケット」が i に変更され、アイコンをドラッグするとアプリケーションの情報を確認できます。
- 任意にインストールしたアプリケーションや、一部のプリインストールアプリケーションのアイコンをロングタッチすると、画面上部に「削除」が表示され、アイコンをドラッグするとアプリケーションをアンインストールできます。

アプリケーション一覧

お買い上げ時、本端末には次のアプリケーションがインストールされています。

- 一部のアプリケーションの使用には、別途お申し込み（有料）が必要になるものがあります。

アイコン	アプリケーション	説明
	アラーム	設定した時間にアラームを鳴らすことができます。
	あんしんスキャン	端末をウイルス被害から守るアプリです。インストールしたアプリやmicroSDカードなどに潜むウイルスを検出します。
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです。
	カメラ	静止画や動画を撮影できます。
	カレンダー	スケジュールを管理できます。
	ギャラリー	静止画や動画を閲覧・整理できます。
	ダウンロード	アプリケーションでダウンロードしたファイルを記録／管理できます。

アイコン	アプリケーション	説明
	タスクマネージャー	起動中のアプリケーションを確認／終了できます。
	トーク	Google トークでチャットができます。
	ドコモ位置情報	イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービス、緊急通報位置通知にて位置情報を提供するためのアプリです。 また、各種設定変更や設定サイト・サービスサイトへのアクセスができます。
	ドコモ海外利用	海外でのパケット通信利用をサポートするアプリです。データローミング設定や海外パケ・ホーダイを利用する際の対象事業者設定を簡単に行うことができます。
	ナビ	Googleマップナビで目的地までの運転経路を検索し、ナビゲーションを利用できます。
	ビデオ	マーケットからレンタルした映画などの動画を再生できます。
	フォトエディター	画像を編集できます。
	ブラウザ	パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。
	プレイス	現在地周辺の店などの情報を検索できます。

アイコン	アプリケーション	説明
	ペンメモ	手書きでメモを作成できます。
	マーケット	Androidマーケットからアプリケーションをダウンロードできます。
	マイファイル	静止画や動画、音楽などのデータを表示・管理できます。
	マップ	Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などができます。
	メッセンジャー	複数の友だちグループをまとめて１つのシンプルなグループチャットに招待し、全員で１つのページでチャットを楽しむことができるアプリです。
	メモ	メモを作成できます。
	AllShare	DLNA（Digital Living Network Alliance）対応機器とファイルを共有できます。
	Backup	本端末に保存されているデータをバックアップ、復元できます。
	BeeTV	BeeTVは携帯電話専用放送局です。オリジナルのドラマ、音楽、バラエティなどの番組を視聴できます。
	BOOKストア 2Dfacto	本格的な文芸書、人気のコミック、話題のビジネス書など、数多くのジャンルの電子書籍を購入して閲覧できる電子書籍ストアです。

アイコン	アプリケーション	説明
	dメニュー	iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。
	Eメール	Eメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。
	ecoモード	ディスプレイの明るさなど各種設定を調整することにより、電池の抑制を抑える「ecoモード」を設定するアプリです。
	Evernote	Webサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、様々な情報をサーバーに保存し、必要なときに検索・閲覧できます。情報の保存や閲覧は本端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。
	Game Hub	大人気ゲームを楽しめるMobage(モバゲー)のアプリです。
	Gmail	GmailでEメールの送受信ができます。
	Google+	GoogleのSNSが利用できます。
	Google検索	各種情報を検索できます。
	Latitude	地図上で友人と位置を確認しあったり、メールを送ったりできます。

アイコン	アプリケーション	説明
	My docomoアプリ	ご利用料金やドコモポイントなどの情報を手軽に参照できるアプリです。
	Polaris Office	Office文書の表示・編集・新規作成ができます。
	Pulse	各種RSSやニュースサイトの情報をサムネイル形式で表示し、直感的操作で、自分の欲しい情報を簡単に閲覧できるニュースリーダーアプリです。
	Samsung Apps	役に立つアプリケーションのダウンロードや、インストールしたアプリケーションのアップデートができます。
	Smart Remote	赤外線を使用してTVなどを操作できます。
	SMS	SMSの送受信ができます。
	Social Hub	メールやSNS（Social Network Service）を統合するメッセージングアプリケーションを利用して、SMSの送信やSNSの情報更新ができます。
	spモードメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

アイコン	アプリケーション	説明
	Twonky Special	端末と家電をつなげるアプリです。端末内やインターネット上の動画・写真・音楽をテレビやオーディオにワイヤレス再生することができます。
	YouTube	動画の再生・投稿ができます。
	音楽プレーヤー	音楽を再生できます。
	音声検索	音声でキーワードを入力してGoogle検索ができます。
	辞典	辞書で単語などを調べられます。
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	書籍・コミック E★エブリスタ	プロ作家・有名人のオリジナル作品から一般ユーザの人気投稿作品まで、話題の電子書籍や電子コミックなどが閲覧できます。
	世界時計	指定した国・地域の時刻を確認できます。
	設定	本端末の各種設定ができます。

アイコン	アプリケーション	説明
	地図アプリ	地図・お店や施設検索・ナビ・乗換・訪れた街などの機能でおでかけをサポートします。
	電卓	計算できます。
	電話	通話アプリケーションです。
	電話帳	連絡先の登録・管理ができます。
	電話帳コピーツール	microSD カードなどの外部記録媒体を利用して電話帳データの移行やコピーができるアプリです。
	動画	動画を再生できます。
	筆まめLite	写真やメッセージを入れた年賀状を作成できます。

お知らせ

- をタップすると、ホーム画面に戻ります。
- Eメールや SMS を受信すると、「Eメール」や「SMS」、「Social Hub」のアイコンの右上に受信したメールの件数が表示されます。

電話／ネットワークサービス

電話をかける

- 本端末には受話口がありません。ハンズフリー通話のみ可能です。マイク付ステレオヘッドセット（試供品）などをお使いください（P.154）。

1 ホーム画面で「電話」

電話番号入力画面

① **タブ**
「キーパッド」タブ(P.150)
「履歴」タブ（P.159）
「電話帳」タブ（P.151）
「お気に入り」タブ（P.151）
「グループ」タブ

② **電話番号入力欄**
入力した電話番号が表示されます。

③ **お気に入り欄／検索結果欄**
「お気に入り」タブ画面で追加した連絡先が表示されます。
また、ダイヤルボタンをタップすると、電話帳や履歴から対応する候補と件数の検索結果に表示が切り替わります。
- 電話帳の名前（半角英数字で登録している場合のみ）は1桁以上、電話番号は3桁以上入力すると、検索されます。

④ **ダイヤルボタン**
電話番号を入力します。

⑤ **電話帳登録ボタン**
入力した電話番号を電話帳に新規／追加登録します。

⑥ **削除ボタン**
カーソルの左側にある番号を削除します。ロングタッチすると、カーソルの左側にある番号をすべて削除できます。

⑦ **SMS ボタン**
SMS を作成・送信します（P.232）。

⑧ **電話発信ボタン**

2 相手の電話番号を入力する

- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。

3 「発信」

通話中画面が表示されます。

4 通話が終了したら「終了」

お知らせ

- 本端末では、テレビ電話は利用できません。
- 日本国内では、ドコモUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番／119番／118番に発信できません。
- 1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にするには、電話番号の前に「186」（通知）／「184」（非通知）を入力します。「発信者番号通知」（P.84）を利用して、あらかじめ通知／非通知を設定することもできます。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、待ち受け画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

電話番号入力画面のメニュー

☰ をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
2秒間のポーズ追加	「,」を入力します。電話番号に続けて「,」と番号を入力して発信すると、電話がつながって約2秒後にプッシュ信号（番号）が自動的に送信されます。
待機を追加	「；」を入力します。電話番号に続けて「；」と番号を入力して発信すると、電話がつながって送信操作を行ったときにプッシュ信号（番号）が送信されます。
設定	表示オプションや、基本設定や、連絡先の送信に関する必要な項目を設定します。

電話帳から電話をかける

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「電話帳」**

登録情報の一覧が表示されます。

お気に入りを利用する場合

ホーム画面で「アプリケーション」→「電話帳」→「お気に入り」タブをタップします。

2 **発信したい相手をタップする**

登録情報の詳細が画面の右側に表示されます。

3 **電話番号をタップする**

国際電話（WORLD CALL）を利用する

- 海外での利用については、P.337以降をご覧ください。
- 通信事業者によっては、発信者番号が通知されない／正しく表示されないことがあります。この場合、履歴から電話をかけることはできません。

WORLD CALLについてのご不明な点は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 ホーム画面で「電話」→「0」「1」「0」→国番号→地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた相手の電話番号を入力する

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2 「発信」

3 通話が終了したら「終了」

お知らせ

- 「国番号-地域番号（市外局番）-電話番号」の先頭に、「0」をロングタッチして「+」を入力すると、発信時に「+」が国際アクセス番号の「009130010」に変換され、国際電話をかけることができます。

電話を受ける

1 **電話がかかってくる**

着信中の画面が表示されます。

2 **を右方向にドラッグする**

着信拒否する場合

を左方向にドラッグします。

着信拒否して相手にSMSで拒否理由を伝える場合

画面下部の「着信拒否SMSを設定」を上方向にドラッグし、拒否理由の「送信」をタップします。

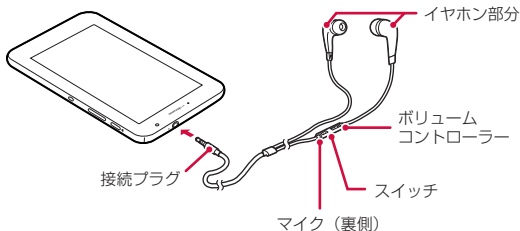
- 「新規メッセージを作成」をタップすると、SMSを作成できます。

お知らせ

- 拒否理由は、「着信拒否SMSを設定」（P.204）で変更できます。
- 着信中に（　　　）ⓘを押すか、（音量大）／（音量小）を押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。

マイク付ステレオヘッドセットの使いかた

本端末にマイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続すると、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押してかかってきた電話を受けることができます。

■ マイク付ステレオヘッドセットの取り付けかた

1 **マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込む**

- 接続プラグはヘッドホン接続端子の奥まで正しく差し込んでください。

■ マイク付ステレオヘッドセットで電話を受ける

1 電話がかかってきたら、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押す

電話がつながると通話ができます。自分の音声は、マイク付ステレオヘッドセットのマイクから相手に送られます。

- 通話相手の声の音量（通話音量）を調節するには、通話中にボリュームコントローラーの「＋」または「－」を押します。

着信を拒否する場合

着信中にマイク付ステレオヘッドセットのスイッチを1秒以上押して離します。

通話を保留／保留解除する場合

通話中にマイク付ステレオヘッドセットのスイッチを1秒以上押して離します。

- 「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。

2 通話が終了したら、再度スイッチを押す

お知らせ

- 本端末にマイク付ステレオヘッドセットを接続している場合でも、着信音やアラームは本端末からも鳴ります。

通話中の操作

通話中画面

① **通話時間**

② **着信画像**

③ **保留ボタン※／保留解除ボタン※**
通話を保留／保留解除します。

④ **通話を追加ボタン**※
　別の相手に電話をかけます。

⑤ **ミュートボタン**
　自分の声を相手に聞こえなくします。

⑥ **相手の名前**

⑦ **電話番号**

⑧ **キーパッドボタン／非表示ボタン**
　テンキーパッドを表示／非表示します。テンキーパッドをタップすると、プッシュ信号を送信します。

⑨ **終了ボタン**

⑩ **Bluetoothボタン**
　Bluetooth デバイスと接続してハンズフリーで通話します。

※「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。

お知らせ

- 通話相手の声の音量（通話音量）を調節するには、通話中に （音量大）または （音量小）を押します。

通話中画面のメニュー

☰ をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
電話帳	電話帳の登録情報の一覧を表示します。

発着信履歴を利用して電話をかける

履歴では、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を一覧で確認できます。

- SMSの送受信履歴も確認できます。

1 **ホーム画面で「電話」→「履歴」タブ**

履歴画面が表示されます。

：着信／受信履歴	：発信／送信履歴
：不在着信履歴	：電話
：SMS	：着信拒否履歴／拒否リストからの電話

2 **かけたい相手をロングタッチする**

3 **「音声通話」**

お知らせ

- 電話帳に登録されている相手の画像をタップし、アイコンをタップすると、電話の発信やSMSの作成などができます。

履歴画面のメニュー

≡をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
表示設定	表示する履歴の種類を切り替えます。
設定	表示オプションや基本設定、連絡先の送信に関する必要な項目を設定します。

履歴のメニュー

履歴をロングタッチすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
音声通話	履歴の電話番号に電話をかけます。
SMS	SMSを送信します。
削除	履歴を削除します。
拒否リストに追加	「着信拒否」（P.205）の着信拒否リストに電話番号を追加します。
編集して発信	電話番号が入力されたキーパッド画面を表示します。
連絡先に追加	電話番号を電話帳に登録します。

電話着信時の応答方法を設定する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「通話」→「通話応答／通話終了」

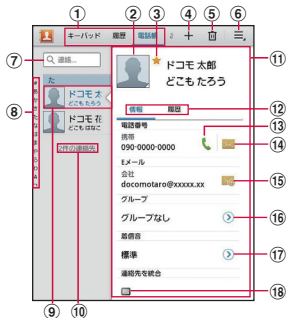
2 設定したい項目をタップする

項目	説明
電源キーで通話終了	( ) ⏻ で通話を終了するかどうかを設定します。
自動応答	応答モードを有効にするかどうかを設定します。
自動応答	電話が着信してから自動的に応答するまでの時間を設定します。ヘッドセットが接続された状態でのみ動作されます。 • 本端末にマイク付ステレオヘッドセット（試供品）を取り付けている場合に動作します。

電話帳

電話帳に登録する

電話帳に名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報を登録できます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「電話帳」

「電話帳」タブ画面

① タブが表示されます。
- 「キーパッド」をタップすると、電話番号を入力することで電話帳からプロフィールを検索し、電話をかけることができます。
- 「履歴」をタップすると、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴、ＳＭＳの送受信履歴を一覧で確認できます。
- 「電話帳」タブをタップすると、すべての連絡先が表示されます。
- 「お気に入り」タブをタップすると、お気に入りに登録した連絡先のみ表示されます。
- 「グループ」タブをタップすると、グループごとに連絡先を表示できます。

② 登録した画像が表示されます。
- タップすると、通話、ＳＭＳやＥメールの送信など、登録内容に応じた操作アイコンが表示されます。

③ お気に入りへの登録（オレンジ色）／未登録（グレー）を示すアイコンが表示されます。
- タップするごとに登録／登録解除ができます。

④ 連絡先を登録します。

⑤ 表示中の連絡先を削除します。

⑥ メニューを表示します。

⑦ 名前や電話番号などを入力して連絡先を検索します。
- 「グループ」タブ画面を表示している場合は、グループの種類を切り替えられます。

⑧ インデックス上をスライドして連絡先を検索します。
⑨ 連絡先に登録した画像と名前が表示されます。
⑩ 連絡先の登録件数が表示されます。
⑪ 選択した連絡先の情報が表示されます。
⑫ タブが表示されます。
- 「情報」タブをタップすると、連絡先の登録内容が表示されます。
- 「履歴」タブをタップすると、SMSやEメールの送信履歴などが表示されます。

⑬ 電話をかけます。
⑭ SMSを作成します。
⑮ Eメールを作成します。
⑯ グループを変更します。
⑰ 着信音を変更します。
⑱ タップすると、連絡先を統合・分離します。
- 表示されるアイコンは、登録先によって異なります。

2 ＋ → 登録先をタップする

連絡先編集画面（登録先が「本体」の場合）

① **画像欄**
画像を登録できます。保存済みの画像を選択するには「アルバム」、写真を撮影するには「カメラを起動」をタップします。

② **ラベルボタン**
入力内容のラベル（種類）を選択できます。表示されるリストから「カスタム」をタップすると、任意のラベルを作成できます。

③ **詳細入力ボタン**
敬称やミドルネームを入力できます。

④ **項目追加／削除ボタン**
選択した項目の入力欄を追加／削除できます。

3 必要な項目を入力する

- 「グループ」欄をタップすると、連絡先をグループ分けできます。
- 「フィールドを追加」をタップすると、住所やメモ、URLなどの入力欄を追加できます。

4 「完了」

- 連絡先が表示されない場合は ≡ →「設定」→「表示オプション」をタップして表示の設定を変更できます。

連絡先をお気に入りに追加する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「電話帳」→「お気に入り」タブ →

2 お気に入りに追加したい連絡先にチェックを付ける →「完了」

- お気に入りから削除するには、連絡先のチェックを外すか、 をタップします。

グループを追加する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「電話帳」→「グループ」タブ → ＋

2 「グループ名」欄 → グループ名を入力 →「グループ着信音」→「標準」／「着信音」／「マイファイル」→ 設定したい着信音をタップ →「OK」

3 「メンバーを編集」→ グループに追加したい連絡先にチェックを付ける →「完了」→「完了」

- グループから削除するには、連絡先のチェックを外すか、 をタップします。

プロフィールを登録する

1 「電話帳」タブ画面で ☰ →「プロフィール」→「編集」

プロフィール編集画面が表示されます。

2 必要な項目を入力 →「完了」

お知らせ

- プロフィールを名刺データとして送信するには、プロフィールの表示画面で「送信」→ 送信方法をタップします。

連絡先の内容を確認／編集する

1 「電話帳」タブ画面で確認したい連絡先をタップする

連絡先を編集する場合

☰ →「編集」をタップします。

連絡先を削除する場合

🗑 →「OK」をタップします。

連絡先をインポート／エクスポートする

docomoアカウントやGoogleアカウント、ドコモUIMカードと本端末の間で連絡先をインポート／エクスポートできます。

1 「電話帳」タブ画面で ≡ →「インポート／エクスポート」

2 次の操作を行う

連絡先をインポートする場合

「外部SDカードからインポート」／「SIMカードからインポート」をタップします。インポート先を「本体」、「docomo」、またはオンラインサービスのアカウント（ログインしている場合）から選択できます。

- 「SIMカードからインポート」を選択した場合はインポート先をタップし、インポートしたい連絡先にチェックを付ける／「全て選択」にチェックを付ける →「コピー」／「移動」をタップします。

連絡先をエクスポートする場合

「外部SDカードにエクスポート」／「SIMカードにエクスポート」をタップします。

- 「SIMカードにエクスポート」を選択した場合は、エクスポートしたい連絡先にチェックを付ける／「全て選択」にチェックを付ける →「コピー」／「移動」→「OK」をタップします。

お知らせ

- 「SIMカードにエクスポート」を実行すると、連絡先の名前のよみがなは削除されます。

「履歴」タブ／「電話帳」タブ／「お気に入り」タブ／「グループ」タブ画面のメニュー

をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
表示設定※1	表示する履歴の種類を切り替えます。
編集※2※3※4	連絡先を編集します。
連絡先の削除※2	連絡先を削除します。
SNSの友達を表示※2	SNSからインポートした連絡先を表示します。
電話帳と同期※2	本端末で登録したオンラインサービスアカウントと、連絡先データの同期を行います。
インポート／エクスポート※2	→P.169
連絡先を統合※2	連絡先を統合・分離します。
プロフィール※2	→P.168
メイン連絡先設定※2	電話番号などを2件以上入力したとき、優先的に利用する電話番号などを指定します。

項目	説明
連絡先を送信※2※3※4	連絡先をBluetooth通信などを使用して送信します。
名刺を印刷※2※3※4	Wi-FiやUSB接続ケーブルで接続した、本機能に対応するSamsung製のプリンターで連絡先を印刷します。 • 2011年11月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンターはありません。
グループリストを削除※4	追加したグループを削除します。
グループ編集※4	表示中のグループの名前やメンバーを編集します。
グループメンバーの編集※4	表示中のグループのメンバーを編集します。
SMS送信※4	SMSを送信します。
Eメール送信※4	Eメールを送信します。
設定※1※2※3※4	連絡先の表示方法を変更します。(P.172)

※1 「履歴」タブ画面を表示したときに表示されます。
※2 「電話帳」タブ画面を表示したときに表示されます。
※3 「お気に入り」タブ画面を表示したときに表示されます。
※4 「グループ」タブ画面を表示したときに表示されます。

電話帳を設定する

1 「電話帳」タブ画面で ≡ →「設定」

2 設定したい項目をタップする

項目	説明
表示オプション	連絡先の表示方法を設定します。 ・「電話番号が登録された連絡先のみ」にチェックを付けると、電話番号が登録されていない連絡先は表示されません。 ・「表示する連絡先を選択」欄の各電話帳をタップすることで、電話帳の種類ごとに表示を設定できます。
基本設定	連絡先の保存先を設定します。 ・登録時に保存先を選択する場合は「毎回確認」を選択します。 ・本端末から「サービス番号」欄の番号に電話をかけられます。
連絡先の送信	連絡先の送信方法を設定します。

電話帳コピーツール

microSDカードを利用して、他の端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「電話帳コピーツール」**
はじめてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

電話帳をmicroSDカードにエクスポートする

1 **microSDカードを本端末に取り付ける**

2 **「エクスポート」タブ画面で「開始」**
docomoアカウントに保存されている電話帳データがmicroSDカードに保存されます。

電話帳をmicroSDカードからインポートする

1 **電話帳データが保存されたmicroSDカードを本端末に取り付ける**

2 **「インポート」タブ画面でインポートしたいファイルをタップ →「上書き」／「追加」**
インポートした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 **「docomoアカウントへコピー」タブ画面でコピーしたいGoogleアカウントをタップ →「上書き」／「追加」**

コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

- 「本体」に登録した電話帳データもGoogleアカウントと同様にdocomoアカウントへのコピーが可能です。

お知らせ

- 他端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 電話帳をmicroSDカードからインポートする場合は、一括バックアップで作成したファイルは読み込むことができません。

利用できるネットワークサービス

本端末では、メニューを使って以下のドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。
各サービスの概要や利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- お申し込み・お問い合わせについては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を本端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照先
留守番電話サービス	要	有料	P.176
キャッチホン	要	有料	P.179
転送でんわサービス	要	無料	P.183
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.84
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P.187

- 「停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

留守番電話サービスを利用する

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージは1件あたり約3分、最大20件まで録音でき、最長72時間保存されます。
- 留守番電話サービスの開始後、かかってきた電話に応答しなかった場合には、不在着信として記憶され、ステータスバーに が表示されます。ただし、呼出時間が0秒に設定されている場合は、不在着信に記憶されません。
- 伝言メッセージが録音されると、ステータスバーに が表示されます。
- 本端末は、テレビ電話の留守番電話サービスに対応しておりません。「1412」へ音声電話発信し、「非対応」に設定してください。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた方が伝言を録音する※
ステップ3：伝言メッセージを再生する

※ 急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を入力すると、すぐに録音できる状態になります。

留守番電話サービスを利用する

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「通話」→「留守番電話サービス」**

留守番電話サービスの選択画面が表示されます。

2 **利用したい項目を選択する**

項目	説明
開始	「OK」をタップして留守番電話サービスを開始に設定します。
呼出時間	留守番電話サービスセンターに接続するまでの呼出時間を最大120秒まで設定できます。 0～120の数値を入力して「OK」をタップします。
停止	留守番電話サービスを停止に設定します。 「OK」をタップします。
設定確認	現在の設定を確認します。
メッセージ再生	留守番電話サービスセンターに接続して、伝言メッセージを再生します。接続後は、音声ガイダンスに従って操作します。 「OK」をタップします。

項目	説明
設定	留守番電話サービスセンターに接続して、留守番電話サービスの設定を変更します。接続後は、音声ガイダンスに従って操作します。 「OK」をタップします。
メッセージ問合せ	留守番電話サービスセンターに接続して、伝言メッセージをお預かりしているかどうかを確認します。
件数増加鳴動設定	新しい伝言メッセージをお預かりしたときに、確認音とバイブレーションで通知するかどうかを設定します。 確認音による通知には「サウンド」、バイブレーションによる通知には「バイブ」にチェックを付けます。

キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、着信を通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- 通話中に電話がかかってきた場合、「ププ・・・ププ・・・」という通話中着信音は6回で止まりますが、呼び出しは続いています。

お知らせ

- 保留中も、電話を発信した方に通話料金がかかります。

キャッチホンを設定する

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「通話」→「キャッチホン」**

キャッチホンのサービス選択画面が表示されます。

2 **利用したい項目を選択する**

項目	説明
開始	キャッチホンを開始に設定します。 「OK」をタップします。
停止	キャッチホンを停止に設定します。 「OK」をタップします。
設定確認	現在の設定を確認します。

通話を保留にして、かかってきた電話に出る

1 **通話中に通話中着信音が鳴り、着信中の画面が表示されたら 📞 を右方向にドラッグする**

通話中の相手との通話を終了する場合

「XXX-XXX-XXXXとの通話を終了します」をタップします。
通話中の相手との通話が終了し、あとからかかってきた相手との通話に切り替わります。

通話中の相手との通話を保留にする場合

「XXX-XXX-XXXXを保留にします」をタップします。
通話中の相手との通話が保留になり、あとからかかってきた相手との通話に切り替わります。「切替」をタップするたびに通話相手が切り替わります。

通話を保留にして、別の相手に電話をかける

1 **通話中に「通話を追加」→別の相手の電話番号を入力→「発信」**

現在の通話は保留になります。

新しくかけた相手との通話を終了する場合

「終了」をタップします。
新しくかけた相手との通話が終了し、保留中の相手との通話に切り替わります。

新しくかけた相手との通話を保留にする場合

「切替」をタップします。
新しくかけた相手との通話が保留になり、保留中の相手との通話に切り替わります。「切替」をタップするたびに通話中と保留中の相手を切り替えて通話できます。

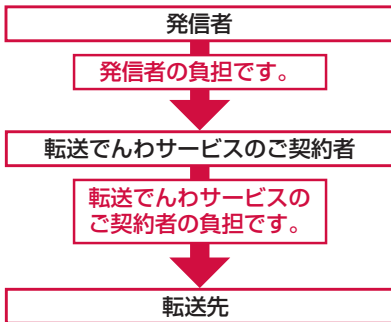
転送でんわサービスを利用する

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた電話を転送するサービスです。

- 転送でんわサービスの開始後、かかってきた電話に応答しなかった場合には、不在着信として記憶され、ステータスバーに が表示されます。ただし、呼出時間が0秒に設定されている場合は、不在着信に記憶されません。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ１：転送先の電話番号を登録する
ステップ２：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ３：お客様の本端末に電話がかかる
ステップ４：電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

転送でんわサービスの通話料

お知らせ

- 転送でんわサービスを開始していても、着信音が鳴っている間に応答すればそのまま通話できます。

転送でんわサービスを設定する

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「通話」→「転送でんわ」**

転送でんわサービスの選択画面が表示されます。

2 **利用したい項目を選択する**

項目	説明
開始	「OK」をタップして、転送でんわサービスを開始します。 「転送先番号」欄と「呼出時間」欄を入力 →「OK」 • 未入力の場合は、前回の設定内容で開始されます。 • をタップすると履歴または電話帳から転送先番号を設定できます。
停止	転送でんわサービスを停止に設定します。 「OK」をタップします。
転送先変更	転送先の電話番号を変更して転送でんわサービスを開始に設定します。 転送先の電話番号を入力→「OK」→「はい」 • 電話番号入力時に、をタップすると履歴または電話帳から転送先番号を設定できます。 • 確認画面で「いいえ」をタップすると、転送でんわサービスを停止したままで、転送先番号のみ変更できます。

項目	説明
転送先通話中時設定	転送先が通話中の場合、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続するかどうかを設定します。 「接続する」／「接続しない」をタップします。
ガイダンス設定	ガイダンスの設定を「ガイダンスON」／「ガイダンスOFF」に設定します。
設定確認	現在の設定を確認します。

転送ガイダンスの有無を設定する

電話を転送するとき、電話をかけてきた相手に、電話を転送することを告げる音声ガイダンスを流すかどうかを設定します。

1 ホーム画面で「電話」→「1」「4」「2」「9」を入力→「発信」

以降、音声ガイダンスに従って設定してください。

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）に設定すると、電源を切っている場合や、機内モード設定中の場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

1 ホーム画面で「電話」→「*」「2」「5」「2」「5」「1」を入力→「発信」

公共モード（電源OFF）が設定されます（画面上の変化はありません）。

公共モード（電源OFF）を解除する場合

ホーム画面で「電話」→「*」「2」「5」「2」「5」「0」を入力→「発信」をタップします。

公共モード（電源OFF）の設定を確認する場合

ホーム画面で「電話」→「*」「2」「5」「2」「5」「9」を入力→「発信」をタップします。

公共モード（電源OFF）に設定すると

「*」「2」「5」「2」「5」「0」を入力し、「発信」をタップして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

- 電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用できるようにします。

サービスを登録する

サービスを登録します。また、サービスの登録内容を変更したり、削除したりすることもできます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「通話」→「追加サービス」→「USSD登録」

2 「追加」

登録済みのサービスの内容を変更する場合

登録済みのサービス項目をロングタッチして「編集」→変更する項目欄の登録内容を変更→「保存」をタップします。

登録済みのサービスを選択して削除する場合

登録済みのサービス項目をロングタッチして「削除」をタップします。

3 「サービス名」欄と「USSDコード」欄に入力→「保存」

「USSDコード」欄にはドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。

登録したサービスを利用する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「通話」→「追加サービス」→「USSD登録」

2 利用したいサービスをタップする

応答メッセージを登録する

追加したサービスを実行したとき、サービスセンターから返ってくるコード（USSD）に対応した応答メッセージを登録します。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「通話」→「追加サービス」→「応答メッセージ登録」

2 「追加」

3 「サービス名」欄と「USSDコード」欄に入力→「保存」

「USSDコード」欄にはドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。

各種設定

設定メニューについて

画面の明るさや表示方法、着信音、通信などさまざまな設定を行うことができます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」

2 メニュー項目を選択して設定を行う

無線とネットワーク

ワイヤレスネットワーク接続の設定をします。

項目	説明
機内モード	すべてのワイヤレス接続を無効にします。
Wi-Fi	Wi-Fi機能をON／OFFにします。
Wi-Fi設定	→P.76
Wi-Fi Direct設定	Wi-Fi Directで他のデバイスに接続します。
Wi-FiでKies接続	Wi-Fiを通してSamsung Kiesに接続します。
Bluetooth	Bluetooth機能をON／OFFにします。
Bluetooth設定	→P.277
テザリング	本端末のデータ通信をUSB経由で、またはポータブルWi-Fiアクセスポイントとして共有します。
VPN設定	VPN（仮想専用線）を用いた通信をするための設定をします。
モバイルネットワーク	ローミングやアクセスポイント（APN）、データ通信、ネットワークオペレーターなどを設定します。

Wi-Fi Directを利用する

Wi-Fi Direct対応デバイスどうしを接続し、データのやりとりができます。

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fi Direct設定」**

- Wi-Fi Direct設定画面が表示されたら、「OK」をタップします。

2 **「Wi-Fi Direct」にチェックを付ける → 検索されたデバイス名をタップする**

- → 「スキャン」をタップするとデバイスの検索結果を更新できます。

3 **「接続」**

- 切断するには「Wi-Fi Directを切断」→「OK」をタップします。

テザリングを利用する

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、USB対応機器、無線LAN対応機器をインターネットに接続させることをいいます。

- USBテザリングとWi-Fiテザリングは同時に利用できます。

USBテザリングを設定する

本端末とパソコンを付属のＵＳＢ接続ケーブルと接続し、インターネットに接続することができます。

- ＵＳＢテザリングを行うには、専用のドライバをパソコンにインストールする必要があります。専用のドライバのダウンロードやその他詳細については、以下のホームページをご覧ください。

  http://www.samsung.com/jp/support/download.html

1 本端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続する

2 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「テザリング」

3 「USBテザリング」にチェックを付ける

- 注意事項の詳細を確認して「OK」をタップします。

お知らせ

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は以下のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加／変更した環境での動作は保証いたしかねます。
Windows XP（Service Pack 3以降）、Windows Vista、Windows 7
- USBテザリングで接続後にUSB接続ケーブルでパソコンとデータのやりとりをする場合（P.269）は、USB接続ケーブルを接続し直してから行ってください。

Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をポータブルWi-Fiホットスポットとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに8台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「テザリング」

2 「Wi-Fiテザリング」にチェックを付ける

- 注意事項の詳細を確認して「OK」をタップします。

Wi-Fiテザリングのアクセスポイントを追加する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「テザリング」

2 「Wi-Fiテザリングを設定」

「Wi-Fiテザリングを設定」画面が表示されます。

3 「ネットワークSSID」→ ネットワークSSIDを入力する

- お買い上げ時には、「AndroidAP」が設定されています。

4 「セキュリティ設定」→「WPA2 PSK」→「パスワード」欄をタップ → パスワードを入力する

- 「セキュリティ設定」を「なし」にしている場合は、パスワードの入力は不要です。

5 「保存」

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

VPN（Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

- 本端末からＶＰＮアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。
- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

VPNを追加する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「VPN設定」

2 「VPNの追加」→ 追加したいVPNの種類をタップする

3 ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定する

4 ≡ →「保存」

VPNに接続する

1 VPN設定画面で接続したいVPNをタップする

2 必要な認証情報を入力し、「接続」

VPNを切断する

1 設定／通知パネルを開き、VPN接続中を示す通知をタップする

2 接続中のVPNをタップする

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「APN」

アクセスポイントを追加で設定する

・MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「APN」→ ▤ →「新規APN」

2 「名前」→ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 →「OK」

3 「APN」→ アクセスポイント名を入力 →「OK」

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力する

5 ▤ →「保存」

・MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、アクセスポイントを初期化するか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「APN」

2 → 「初期状態にリセット」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTT ドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「APN」

2 「mopera U（定額データプラン）」／「mopera U（スマートフォン定額）」／「mopera U設定」の ◉ をタップして ◉ にする

mopera Uが利用するアクセスポイントとして設定されます。

お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- 「mopera U（スマートフォン定額）」をご利用の場合、「パケット定額サービス」のご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 「mopera U（定額データプラン）」をご利用の場合、「定額データプラン」のご契約が必要です。mopera U（定額データプラン）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

通話

通話関連機能の設定をします。

項目		説明
ネットワークサービス	留守番電話サービス	→P.176
	キャッチホン	→P.179
	転送でんわ	→P.183
	発信者番号通知	→P.84
	着信通知	着信通知を開始/停止します。
その他の通話設定	通話応答／通話終了	着信時の応答方法を設定します。
	着信拒否	自動着信拒否や自動着信拒否リストの管理を行います。
	着信拒否SMSを設定	拒否メッセージを編集/設定します。
	追加サービス	新しいネットワークサービスと応答メッセージを登録します。
インターネット通話設定	アカウント	インターネット通話のSIPアカウントを設定します。
	インターネット通話を使用	インターネット通話の使用状態を設定します。

着信拒否時にSMSで送信する拒否理由を登録する

本端末では、電話の着信を拒否して相手にＳＭＳで拒否理由を伝えることができます。拒否メッセージは、最大６件まで登録できます。

- お買い上げ時は５件の拒否メッセージが登録されています。６件登録済みの状態で新しく登録する場合は、不要なメッセージを削除してから登録してください。

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「通話」→「着信拒否SMSを設定」→「新規作成」**

拒否メッセージを削除する場合

「削除」→削除したい拒否メッセージにチェックを付ける／「全て選択」にチェックを付ける→「削除」をタップします。

2 **拒否メッセージを入力→「保存」**

お知らせ

- 拒否メッセージは全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）まで入力できます。

指定した電話番号からの着信を拒否する

着信を拒否したい相手の電話番号を登録できます。電話番号は、最大30件まで登録できます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「通話」→「着信拒否」

2 「自動着信拒否の有効化」にチェックを付ける→「自動着信拒否リスト」

3 「追加」

非通知の電話を拒否する場合

「非通知」にチェックを付けます。

登録した電話番号を修正する場合

修正したい電話番号をロングタッチ→「編集」→電話番号を修正→「保存」をタップします。

登録した電話番号を削除する場合

「削除」→削除したい電話番号にチェックを付ける／「全て選択」にチェックを付ける→「削除」をタップします。

4 拒否したい電話番号を入力→「保存」

- 電話帳から電話番号を引用する場合は、[連絡先アイコン]→「履歴」／「電話帳」→登録する相手をタップします。
- 登録した電話番号のチェックを外すと、着信拒否を解除できます。

サウンド

着信音やバイブレーションなどを設定します。

項目		説明
一般	マナーモード	メディアとアラーム以外は音を鳴らさないよう設定します。
	バイブ設定	バイブの使用状態を設定します。
	音量	通知音、メディア再生、アラーム音、操作音などの音量を設定します。
	バイブの強さ	バイブレーションの強度を設定します。
着信	電話着信音	電話の着信音設定を行います。
通知	通知音	メールなどの通知音を設定します。

項目		説明
フィードバック	タッチ操作音	ダイヤルパット操作音を設定します。
	選択時の操作音	アプリケーションやメニューを選択したときの操作音のオン／オフを設定します。
	画面ロック音	画面ロック／ロック解除時の音のオン／オフを設定します。
	GPS通知	GPS通知時の通知音のオン／オフを設定します。
	タッチ操作バイブ	キーパッド画面の数字キーなどをタップしたときのバイブレーションのオン／オフを設定します。

各種音量を調節する

本端末から鳴る以下の音の音量を調節します。

- 音声着信：電話着信時の着信音
- 通知：通知（P.87）があったときの通知音
- メディア：音楽などの再生音
- アラーム：各種アラーム音
- 操作音量：タッチ操作音や電源ON／OFF時の起動／終了音

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「サウンド」→「音量」**
音量バーが表示されます。

2 **各音量バーの ◯ を左右にドラッグ→「OK」**

■ 音量ボタンで着信音量を調節する

1 **（音量大）／（音量小）を押す**

キーパッド使用時のタッチ操作音のオン／オフを設定する

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「サウンド」→「タッチ操作音」にチェックを付ける／外す**

着信／通知を音や振動で知らせる

着信時や通知時に鳴らす着信音のメロディなどを設定したり、振動させるかどうかを設定したりします。

着信音／通知音を設定する

1. ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「サウンド」→「電話着信音」／「通知音」

2. 設定したい着信音／通知音をタップ→「OK」
「消音」を選択すると、着信音／通知音は鳴りません。

バイブレーションを設定する

1. ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「サウンド」→「バイブ設定」→設定項目を選択する

電話から鳴る音を消す

マナーモードをONに設定すると、着信音や通知音などが鳴らなくなります。

1 **設定／通知パネルを開き、「サウンド」**

設定／通知パネルに「バイブ」が表示されます。

マナーモードをOFFに設定する場合

設定／通知パネルを開き、「バイブ」をタップします。

お知らせ

- ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「サウンド」→「マナーモード」にチェックを付けても、マナーモードをONに設定できます。
- ▯（音量小）を押して着信音量を0にしてから再度▯（音量小）を押しても、マナーモードをONに設定できます。
- マナーモード設定中は、「音量」の項目が設定できません。

画面

画面の明るさや表示方法などを設定します。

項目	説明
明るさ	画面の明るさを設定します。
画面表示	画面表示のフォントの種類、ホーム画面、画面ロック時の壁紙の設定をします。
モード	画面のモードを設定します。
画面の自動回転	本端末の向きに合わせて縦横表示を自動的に切り替えます。
アニメーション表示	画面操作によるアニメーション表示の設定をします。
バックライト点灯時間	画面の表示が消えるまでの時間を設定します。 • 設定時間の約6秒前に画面が少し暗くなってお知らせします。
クイック起動	マルチファンクションソフトキーから起動する機能を設定します。
省エネモード	画面の明るさを自動で調整して電池消費量を抑制します。
水平調整	加速度計を利用して本端末の水平調整をします。

省電力モード

省電力モードに関する設定をします。

項目		説明
省電力をカスタマイズ	省電力カスタム設定を使用	電池残量が少なくなったら、自動的に省電力モードに切り替えるかどうか設定します。
	省電力設定をカスタマイズ	省電力モードを使用するときの設定をします。 • カスタマイズした内容を保存する場合は、「OK」をタップします。
省電力のヒント	省電力について	省電力モード設定の各内容に関する説明を表示します。

位置情報とセキュリティ

位置情報検索やセキュリティに関する設定をします。

項目		説明
マイロケーション	無線とネットワークの使用	→ P.310
	GPS 機能の使用	→ P.310
	位置情報履歴	最新の位置情報を 100 件まで表示します。
	Google 検索で位置情報を利用	現在地情報を Google の検索結果やサービスに使用します。
画面ロック	ロック画面の設定	画面ロックを使用するかどうか、および使用する場合に必要な設定を行います。
	オーナー情報	画面ロック時にオーナー情報を表示するかどうか設定します。
暗号化	端末の暗号化	本端末に保存されているデータを暗号化します。
	外部 SD カードを暗号化	SD カードの暗号化設定を行う。

項目		説明
端末捜索	SIM変更アラート	ドコモUIMカードが変更されたときに他の携帯電話にSMSを送信します。
	アラートメッセージの受信者	ドコモUIMカードが変更されたときに送信するメッセージや受信者を追加／編集します。
	リモートコントロール	遠隔で本端末のロック、データの削除、追跡ができます。詳細については以下のホームページをご覧ください。 http://www.samsungdive.com
SIMカードロック設定	SIMカードロックを設定	→ P.219
パスワード	パスワードを表示	パスワードの入力画面で、入力した文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理	デバイス管理機能	グループウェアのアカウントなどを設定し、本端末にデバイス管理機能がインストールされている場合に、デバイス管理ポリシーを設定します。

項目		説明
認証証明ストレージ	安全な認証情報を使用	証明書やその他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可します。
	証明書のインストール	ユーザーメモリー（本体）から証明書データをインストールします。
	パスワード設定	認証情報ストレージのパスワードを設定します。
	ストレージを消去	すべての証明書データとパスワードを削除します。

お知らせ

画面ロックの解除について

- 画面ロック設定をオフにするには、ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「ロック画面の設定」→ ロック解除パターン、PINまたはパスワードを入力 →「OFF」をタップします。
- 解除パターンやPIN、パスワードの入力に5回失敗すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。解除パターンやPIN、パスワードを忘れた場合は、画面ロックの解除ができませんのでご注意ください。

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 入力した画面ロック用PIN／パスワード、ネットワーク暗証番号、PINコード、PINロック解除コード（PUK）は、「●」で表示されます。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でお申し込みされたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

画面ロック用PIN／パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字４桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomo ID ／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なおｄメニューからは、ｄメニュー →「お客様サポート」→「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。
※「My docomo」、「お客様サポート」については、P.404をご覧ください。

PINコード

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PINコードは、第三者による本端末の無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」（PUK）を入力してロックを解除してから、PINコードの再設定を行ってください。
  PINロック解除コード（8桁）を入力 →「OK」→ 新しいPINコードを入力 →「OK」→ 再度PINコードを入力 →「OK」をタップします。

PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。ロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

PINコードを設定する

本端末の電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定できます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「SIMカードロックを設定」→「SIMカードロック」にチェックを付ける→ PINコードを入力 →「OK」

PINコードを変更する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「SIMカードロックを設定」→「SIMカードロック」にチェックを付ける→ PINコードを入力 →「OK」

2 「SIM PINの変更」→ PINコードを入力 →「OK」→ 新しいPINコードを入力 →「OK」→ 再度PINコードを入力 →「OK」

外部SDカードを暗号化する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「ロック画面の設定」

2 「パスワード」→ パスワードを入力 →「続行」→ パスワードを再入力 →「OK」
- 数字およびアルファベットを含めた6文字以上のパスワードを設定してください。

3 「外部SDカードを暗号化」→「外部SDカードを暗号化」にチェックを付ける
- 外部SDカードのすべてのファイルを暗号化する場合は、「外部SDカード内の全てのファイルを暗号化」にチェックを付けます。
- 外部SDカードのマルチメディアファイル以外を暗号化する場合は、「外部SDカード内のマルチメディアファイルは暗号化しない」にチェックを付けます。

4 「次へ」→ パスワードを入力 →「続行」→「適用」
- 外部SDカードの暗号化には時間がかかる場合があります。

アプリケーション

アプリケーションの表示や、管理に関する設定をします。

項目	説明
アプリケーション管理	インストールされているアプリケーションを管理／削除します。
実行中のサービス	現在実行中のサービスを表示／管理します。
メモリー使用	アプリケーションのメモリー使用量を表示します。
バッテリーの使用量	電池使用量を表示します。
提供元不明のアプリ	Androidマーケットで提供されるアプリケーション以外のアプリケーションのインストールを許可するかどうかを設定します。
開発	アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。
Samsung Apps	Samsung Appsの更新の通知方法を設定します。

アカウントと同期

各アプリケーションやオンラインサービスの同期方法を設定します。

項目		説明
同期設定	バックグラウンドデータ	→ P.81
	自動同期	→ P.81
アカウントを管理		→ P.81

モーション

本体の傾きなどを感知して本端末を操作することができるモーションの設定を行います。

項目		説明
モーション起動		モーションを起動するかどうかを設定します。
モーション起動サービス	チルトでズーム	ギャラリー、ブラウザの画面を拡大したり、縮小したりします。
	パンニングで編集	ホーム画面やアプリケーション画面を編集するとき、アイコンを他のページに１つずつ移動します。

プライバシー

Googleアプリケーションのバックアップ設定や本端末のリセットを行います。

項目		説明
バックアップと復元	データのバックアップ	Googleアプリケーションの設定やデータをGoogleサーバにバックアップします。
	アカウントのバックアップ	バックアップに使用するGoogleアカウントを表示します。このGoogle アカウントは、他の端末に設定を復元するときに使用します。
	自動復元	バックアップ済みのデータをアプリケーションの再インストール時に復元します。
個人データ	システムメモリー（本体）を初期化	本端末の設定をお買い上げ時の状態にリセットし、すべてのデータを消去します。 • Samsungアカウントを設定している場合、リセットできません。Samsungアカウントを削除してから操作してください（P.83）。

ストレージ

本端末のメモリー容量の確認をします。

項目		説明
システムメモリー（本体）	合計容量	本端末の合計データ容量を表示します。
	アプリケーション	各項目が使用しているデータ容量を表示します。
	画像、動画	
	オーディオ（音楽、ポッドキャストなど）	
	ダウンロード	
	その他のファイル	
	使用可能	本端末のメモリーの使用可能な空き容量を表示します。

項目		説明
外部SDカード	外部SDカードの取り付け※	外部SDカードの取り付けを行います。
	合計容量	外部SDカードの合計データ容量を表示します。
	使用可能	外部SDカードの使用可能な空き容量を表示します。
	外部SDカードのマウント解除	外部SDカードの取り外しを行います。
	外部SDカードの初期化	→ P.56

※ microSDカードを取り付けていない場合、または「外部SDカードのマウント解除」をタップした場合に表示されます。

言語と文字入力

使用する言語とキーボードの入力方法や、テキストから音声への変換機能を設定します。

項目		説明
言語設定	言語を選択	本端末で使用する言語を選択します。
音声入力	音声認識	Google音声認識の設定をします。
音声出力	音声合成設定	音声変換機能に関する設定をします。 • 日本語には対応しておりません(2011年11月現在)。
キーボード設定	現在の入力方法	キーボードまたは音声による入力方法を選択します。
	入力方法を選択	入力方法の表示／非表示の設定をします。
	入力方法を設定	入力方法の詳細な設定をします。

ユーザー補助

ユーザー補助に関する設定を行います。

項目		説明
ユーザー補助		ユーザー補助サービスのオン／オフを設定します。
ユーザー補助アプリケーション	TalkBack	本端末から入力する全テキストの収集をアプリケーション（TalkBack）に許可するかどうかを設定します。
ユーザー補助スクリプト	ユーザー補助スクリプトをダウンロード	ユーザー補助スクリプトをGoogleからダウンロードすることをアプリケーションに許可します。
電源キー	電源キーで通話終了	通話の終了を電源／終了ボタンで行えるように設定します。
タッチ画面操作	長押しの調整	長押しの長さを設定します。

項目		説明
視覚	トーチライト	トーチライトをON/OFFします。
オーディオ	モノラルオーディオ	片方のイヤホンだけで聴きやすくするために、オーディオをモノラルにします。
簡単アクセス	通話応答／通話終了	着信時の応答方法を設定します。
	ユーザー補助ショートカット	① を長押しすると、ユーザー補助ショートカットを端末オプションに追加できます。

お知らせ

- ユーザー補助を設定したい場合は、あらかじめAndroid マーケットから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。
- 「ユーザー補助アプリケーション」（TalkBack）の使用を許可すると、クレジットカード番号などの個人情報、ユーザーインターフェースでのやりとりなども記録されますので、ご注意ください。万が一、登録されたデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

日付と時刻

お買い上げ時は「自動日時設定」（ネットワーク上の日付・時刻情報を自動的に取得して補正）に設定されています。日付・時刻を手動で設定するには、「自動日時設定」のチェックを外してから設定を行います。

項目	説明
自動日時設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を基にして、自動的に補正します。
日付設定※	年月日を設定します。
時刻設定※	時刻を設定します。
タイムゾーン選択	タイムゾーンを設定します。
24時間形式を使用	時刻を24時間表記に切り替えます。
日付の表示形式を選択	年月日の表記方法を切り替えます。

※ Googleアカウントを設定していると、日付・時刻情報が自動的に補正されることがあります。

端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>ソフトウェア更新</td><td>→ P.371</td></tr>
<tr><td>ステータス</td><td>電池状態や電話番号などを表示します。</td></tr>
<tr><td>バッテリーの使用量</td><td>アプリケーションごとの電池使用の割合を表示します。各項目をタップすると詳細が表示され、電池消費を抑えるための設定変更もできます。</td></tr>
<tr><td>法定情報</td><td>ライセンス設定やオープンソースの使用許諾条件、Google利用規約などを確認します。</td></tr>
<tr><td>認証</td><td>技適マークなどが表示されます。</td></tr>
<tr><td>モデル番号</td><td>型番を確認します。</td></tr>
<tr><td>Androidバージョン</td><td rowspan="4">ソフトウェアのバージョンを確認します。</td></tr>
<tr><td>ベースバンドバージョン</td></tr>
<tr><td>カーネルバージョン</td></tr>
<tr><td>ビルド番号</td></tr>
</table>

メール／インターネット

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面で「spモードメール」→ 画面の指示に従ってspモードメールをインストールする

メッセージ（SMS）

SMSについて

携帯電話番号を宛先にして全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）まで、文字メッセージを送受信できるサービスです。

SMSを作成して送信する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「SMS」

SMS画面が表示されます。
スレッド（SMSを送受信した相手）一覧が画面左側に、選択中のスレッドのSMS一覧が画面右側に表示されます。

2 [作成アイコン]

SMS作成画面が表示されます。

3 宛先に送信先の携帯電話番号を入力する

- 複数の相手に送信する場合は、カンマ（,）で区切ります。
- [電話帳アイコン] をタップして、電話帳やお気に入り、電話帳のグループなどから宛先を選択して入力できます。
- 入力した宛先を削除／修正／電話帳に登録する場合は、ボタン表示された宛先をタップ→「削除」／「編集」／「連絡先に追加」をタップします。宛先がボタン表示されない場合は、「ここにメッセージを入力」欄をタップし、宛先欄を再度タップすると表示されます。

4 「ここにメッセージを入力」欄をタップ → 本文を入力する

- 登録済みのデータを引用して本文を入力するには、 → 「テキストのインポート」をタップします。

5 「送信」

作成中のSMSを下書き保存する場合

宛先と本文が入力され、キーボードが表示されていない状態で をタップします。

お知らせ

- 送信したい相手がSMS画面のスレッド一覧にある場合は、送信したいスレッドをタップし、「ここにメッセージを入力」欄に本文を入力して「送信」をタップしても、SMSを送信できます。
- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください）。
- 宛先に“#”または“*”がある場合、SMSを送信できません。

受信したSMSを確認する

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「SMS」**

SMS画面が表示されます。
スレッド（SMS を送受信した相手）一覧が画面左側に、選択中のスレッドのSMS一覧が画面右側に表示されます。

2 **読みたいスレッドをタップする**

受信SMSはオレンジ色の吹き出し、送信SMSは水色の吹き出しで表示されます。

SMSを削除する場合

🗑 →削除したいSMSにチェックを付ける／「全て選択」にチェックを付ける →「削除」→「削除」をタップします。

- 保護設定しているSMSも削除する場合は、削除の確認画面で「保護メールも含める」にチェックを付けます。

お知らせ

- SMSを受信すると、ステータスバーに ✉ が表示されます。

SMS画面のメニュー

をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
スレッドを削除	スレッドを削除します。
テキストのインポート	登録済みのデータを引用します。
発信	スレッドの相手に電話をかけます。
文字サイズ	文字サイズを変更します。
設定	SMSの設定を行います（P.237）。

スレッド／SMSのメニュー

スレッド／SMSをロングタッチすると次の項目が表示されます。

項目	説明
連絡先表示※1	スレッドの相手が電話帳に登録されている場合に登録情報を表示します。
連絡先に追加※1	スレッドの相手を電話帳に登録します。
再送信※2	送信失敗したSMSを再送信します。
転送※2	SMSを転送します。
削除	スレッド／SMSを削除します。
本文をコピー※2	SMSの本文をコピーします。
SIMにコピー※2	SMSをドコモUIMカードにコピーします。
メッセージを編集※2	送信失敗したSMSの本文を編集します。

項目	説明
保護ON ／保護OFF※2	誤って削除しないようにSMSを保護／保護解除します。
詳細※2	タイプ、発信元／宛先、送受信日時、送達通知（配信確認）を表示します。

※1　スレッドをロングタッチしたときのみ表示されます。
※2　SMSをロングタッチしたときのみ表示されます。

お知らせ

- SMSはドコモUIMカードに20件までコピーできます。

SMSを設定する

1 SMS画面で ≡ →「設定」

2 設定したい項目をタップする

項目	説明
自動削除	SMSが「最大SMS件数」で設定した件数に達したとき、自動的に削除するかどうかを設定します。
最大SMS件数	「自動削除」にチェックを付けたとき、SMSの最大件数を設定します。

項目	説明
配信確認	送信するSMSの送達通知を毎回要求するかどうかを設定します。
SIMカード保存SMS管理	ドコモUIMカードにコピーしたSMSを確認・削除・本端末にコピーします。
SMSセンター	SMSセンターを設定します。 • 通常は設定を変更する必要はありません。
有効期限	送信するSMSの有効期限を設定します。
通知	SMSを受信したときに、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音	SMSを受信したときに鳴らす着信音を設定します。

Eメール

Eメールを設定する

mopera UメールのEメールアカウントや、一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

お知らせ

- パソコンや他の端末とメールを送受信した場合、利用環境によっては絵文字やHTMLメールなどの内容が正しく表示されない場合があります。
- 本端末でEメールを送受信するとEメールのサーバと同期が行われ、「受信トレイ」など同期するように設定されている項目は、同期時のサーバと同じ状態になります。

ご利用料金について

- Eメールの送受信では、画面に表示される文字や画像以外に通信が必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。

Eメールアカウントを設定する

メールアドレスとパスワードを入力すると、Eメールアカウントの設定を自動的に取得して設定が行われます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウント設定の情報をご用意ください。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「Eメール」

2件目以降のEメールアカウントを設定する場合

ホーム画面で「アプリケーション」→「Eメール」→ ☰ →「設定」→「アカウント追加」をタップします。

2 Eメールアドレス、パスワードを入力 →「次へ」

Eメールアカウントの設定が自動的に取得され、アカウントオプション画面が表示されます。

- 入力したパスワードは「●」で表示されます。「パスワードを表示」にチェックを付けると、パスワードを表示できます。
- 自動的に設定を取得できず、アカウントタイプの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定を行ってください。
- 2件目以降のEメールアカウントを設定する場合は、「常にこのアカウントからEメールを送信」が表示され、チェックを付けると常に利用するEメールアカウントとして設定できます。

手動で設定する場合

メールアドレス、パスワードを入力 →「手動設定」→ 画面の指示に従って設定します。

3「新着Eメール自動確認」欄 → 設定したい自動確認の間隔をタップ →「次へ」

- Eメールの受信時に通知アイコンを表示する場合は、「Eメール受信時に通知」にチェックを付けます。

4 アカウント名、ユーザー名を入力 →「完了」

お知らせ

- 「常にこのアカウントからEメールを送信」にチェックを付けると、「標準アカウント」（P.242）にもチェックが付きます。

Eメールアカウントを管理する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「Eメール」

Eメール一覧画面が表示されます。

2 ≡ →「設定」

設定画面が表示されます。

3 Eメールアカウント → 設定したい項目をタップする

項目	説明
アカウント名	アカウント名を変更します。
ユーザー名	ユーザー名を変更します。

項目	説明
署名	署名を登録します。
新着Eメール自動確認	新着メールを確認する時間の間隔を変更します。
標準アカウント	通常のEメールアカウントとして使用するかどうかを設定します。 • Eメール一覧画面でアクションバーのアカウント名をタップしたとき、設定したEメールアカウントにが表示されます。 • Eメールを起動したとき、設定したEメールアカウントのEメール一覧が表示されます。
必ず自分にCc/Bccを送信	Eメールの送信時に、CcまたはBccに自分のEメールアドレスを入力して送信するかどうかを設定します。
Eメール通知	Eメールを受信したときに、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。

項目	説明
着信音	Eメールを受信したときに鳴らす着信音を設定します。
バイブ設定	Eメールを受信したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。
受信設定	受信サーバの設定を変更します。
送信設定	送信サーバの設定を変更します。

お知らせ

- Eメールアカウントを削除する場合は、設定画面で「アカウントを削除」→ 削除したいEメールアカウントにチェックを付ける →「削除」→「削除」をタップします。

Eメールを作成して送信する

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「Eメール」→ [icon]**

Eメール作成画面が表示されます。

Eメールアカウントを切り替える場合

ホーム画面で「アプリケーション」→「Eメール」→ アクションバーのアカウント名 → 切り替えたいEメールアカウント → [icon] をタップします。

2 **宛先に送信先のメールアドレスを入力する**

- 複数の相手に送信する場合は、カンマ（,）で区切ります。
- Cc／Bccを追加する場合は +Cc/Bcc を、自分のメールアドレスを追加する場合は +自分 をタップします。
- [icon] をタップして、電話帳やお気に入り、電話帳のグループなどから宛先を選択して入力できます。
- 入力した宛先を削除／修正／電話帳に登録する場合は、ボタン表示された宛先をタップ →「削除」／「編集」／「連絡先に追加」をタップします。宛先がボタン表示されない場合は、「件名」欄またはメッセージ欄をタップし、宛先欄を再度タップすると表示されます。

3 **「件名」欄をタップ → 件名を入力する**

4 メッセージ欄をタップ → メッセージを入力する

ファイルを添付する場合

→ ファイルの種類をタップ → 添付したいファイルをタップします。
- 添付ファイルを削除する場合は をタップします。

本文中に画像や文字、位置情報などを挿入する場合

→ ファイルの種類をタップ → 挿入したいファイルをタップします。

5 「送信」

作成中のEメールを下書き保存する場合

宛先、本文、ファイルのいずれかが入力／添付済みで、キーボードが表示されていない状態で「キャンセル」／ →「OK」をタップします。

受信したEメールを確認する

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「Eメール」**

Eメール一覧画面が表示されます。
フォルダーが画面左側に、選択中のフォルダーに保存されているEメール一覧が画面右側に表示されます。

Eメールアカウントを切り替える場合

アクションバーのアカウント名 → 切り替えたいEメールアカウントをタップします。

- 「統合ビュー」をタップすると、すべてのEメールアカウントの受信トレイに保存されているEメールを、まとめて表示できます。

別のフォルダーに移動する場合

移動したいEメールにチェックを付ける → [移動] → 移動先のフォルダーをタップします。

既読／未読にする場合

既読／未読にしたいEメールにチェックを付ける → [既読] ／ [未読] をタップします。

お気に入りに追加／解除する場合

お気に入りに追加／解除したいEメールにチェックを付ける → ★ ／ ☆ をタップします。

- 「統合ビュー」を表示している場合は、操作できません。

2 確認したいEメールをタップする

本文画面が表示されます。
横画面で表示した場合は、Eメール一覧が画面左側に、選択したEメールの本文が画面右側に表示されます。

：Eメールを検索します。
：新着Eメールがあるかどうかを確認します。
：Eメールを返信します（宛先が1件の場合に表示されます）。
:Eメールを返信します（宛先が複数の場合に表示されます）。タップした後、「返信」／「全員に返信」をタップして返信方法を選択します。
：Eメールを転送します。
：Eメールを削除します。

添付ファイルを確認する場合

「添付ファイル」タブ → ファイル名をタップします。

- 添付ファイルを保存するには を、複数の添付ファイルをまとめて保存するには「全て保存」をタップします。

お知らせ

- Eメールを受信すると、ステータスバーに が表示されます。
- 本文画面で ＜ ／ ＞ をタップすると、前後のEメールに切り替えられます。

■Eメール一覧画面／本文画面のメニュー

☰をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
未読に変更※	Eメールを未読にします。
移動※	別のフォルダーに移動します。
ソート	「表示モード」を「標準表示」に設定している場合のEメール一覧の並び順を選択します。
表示モード	Eメール一覧の表示方法を標準表示、スレッド表示から選択できます。
背景色※	本文画面の背景色を設定します。
印刷※	Wi-FiやUSB接続ケーブルで接続した、本機能に対応するSamsung製のプリンターでEメールを印刷します。 • 2011年11月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンターはありません。
設定	Eメールの設定を行います（P.239）。

※ 本文画面でのみ表示されます。

お知らせ

- 画面を縦表示にしている場合は、項目の表示が異なります。

Gmail

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合、設定を行ってから操作してください（P.80）。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「Gmail」

お知らせ

- Gmailの詳細については、Gmailの画面で ≡ →「ヘルプ」をタップして、Gmailのヘルプをご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用の着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、受信画面が表示されます。

- 着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- 買い上げ時は、マナーモード設定中でも着信音が鳴ります。鳴動しないように設定できます（P.251）。

受信したエリアメールを表示する

1. ホーム画面で「アプリケーション」→「エリアメール」
2. 確認したいエリアメールをタップする

緊急速報「エリアメール」を設定する

1 エリアメール画面で ≡ →「設定」

2 設定したい項目をタップする

項目	説明
通知を有効	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
鳴動時間	着信音の鳴動時間を設定します。
マナーモード時設定	マナーモード（バイブ）設定時も着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認	受信画面と着信音を確認します。

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを利用して、ウェブページを閲覧できます。本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でウェブブラウザを利用できます。

ウェブブラウザを使用する

ウェブブラウザを使って、インターネットの携帯向けサイトやPCサイトを閲覧できます。

ウェブブラウザを起動する

1 **ホーム画面で「ブラウザ」**

ウェブブラウザが起動し、よく見るページの一覧が表示されます。

- 「よく見るページ」（P.266）のチェックを外している場合は、ホームページに設定されているウェブページ（お買い上げ時はdメニュー（http://smt.docomo.ne.jp/））が表示されます。

ブラウザ画面

① タブが表示されます。
- をタップすると、タブを閉じます。 をタップすると、タブを最大16枚まで表示できます。
- 複数のウェブページをタブで表示中の場合は、タブをタップして切り替えられます。表示しきれないタブがある場合は、タブ上を左右にスライド／フリックして表示できます。

② 直前に表示していたウェブページに戻ります。

③ をタップしてウェブページを表示中の場合に、直前のウェブページに進みます。

④ ウェブページの情報を更新／更新を停止します。

⑤ アドレスバーが表示されます。
- 表示中のウェブページのURLが表示されます。
- 他のウェブページを表示するには、URLや検索したいキーワードをここに入力して をタップします。

⑥ 表示中のウェブページをブックマークに追加します（P.259）。
- ブックマークに追加されているウェブページを表示中は （黄色）が表示され、タップするとブックマークを編集できます。

⑦ Google検索を行います。
- アドレスバーをタップして をタップすると、検索したいキーワードを音声で入力できます。

⑧ メニューを表示します。
⑨ ブックマーク／履歴の一覧を表示します。

お知らせ

- ブラウザ画面の② ～ ⑨が表示されない場合は、タブの▼をタップするか、ウェブページ最上段を表示すると表示できます。

ウェブブラウザを終了する

1 → 「タスクマネージャー」→「ブラウザ」の をタップする

または をタップしてホーム画面に戻っても、ブラウザは終了しません。

お知らせ

- ブラウザ画面で次の操作ができます（表示中のウェブページにより操作できない場合があります）。
  - 拡大／縮小：拡大／縮小したい位置で２本の指の間隔を広げる／狭める
  - フレームで区切られた箇所を拡大／縮小：拡大／縮小したい位置でダブルタップする
  - テキストのコピー／共有／検索／Web検索：リンクがないテキストをロングタッチ → ／ をドラッグしてテキストの範囲を指定（ウェブページ全体を選択する場合は「」（全て選択）をタップ）→「」（コピー）／「」（共有）／「」（検索）／「」（Web検索）をタップする
  - スクロール：スクロール／フリックする
  - 前の画面に戻る： をタップする
- 表示中のウェブページがRSSフィードを提供しているとき、アドレスバーに が表示されます。 をタップすると、RSSフィードをGoogleリーダーに追加できます（Googleアカウントの設定が必要です）。

ウェブページのリンクを操作する

1 ブラウザ画面でリンクをロングタッチする

2 利用したい項目をタップする

項目	説明
開く	ウェブページを開きます。
新しいタブで開く	ウェブページを新しいタブで開きます。
リンクを保存	ウェブページを本端末に保存します。
URLをコピー	URLをコピーします。
テキストを選択※1	ウェブページ内のテキストを選択して、コピー／共有／検索／Web検索します。 • ／／／／／をドラッグしてテキストの範囲を指定します。
画像を保存※2	画像を本端末に保存します。
画像をコピー※2	画像をクリップボードに保存します。

項目	説明
画像を表示※2	リンク先の画像を表示します。
壁紙に設定※2	画像をホーム画面の壁紙に設定します。

※1　テキストのリンクの場合に表示されます。
※2　画像のリンクの場合に表示されます。

お知らせ

- 表示中のウェブページにより、リンク操作のメニューが表示されない場合や、表示される項目が異なる場合があります。

ブラウザ画面のメニュー

☰ をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
新しいタブ	新しいタブを表示します。
新しいシークレットタブ	新しいシークレットタブを表示します。
ページ内を検索	ウェブページ内のテキストを検索します。
ページを共有	ウェブページのURLを、Bluetooth通信／Eメール／Gmail ／ SMS ／ Wi-Fiなどで送信します。

項目	説明
ページを保存	表示中のウェブページを本端末に保存します。
ページ情報	ウェブページのURLを表示します。
ダウンロード	ダウンロード済みやダウンロード中のデータの情報を確認します。
印刷	Wi-FiやUSB接続ケーブルで接続した、本機能に対応するSamsung製のプリンターでウェブページ／画像を印刷します。 • 2011年11月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンターはありません。
設定	ウェブブラウザの設定を行います（P.263）。

履歴やブックマークを管理する

履歴からウェブページを表示する

1 ブラウザ画面で →「履歴」タブ →「よく見るページ」／閲覧日をタップする

履歴の一覧が表示されます。

- 履歴の （灰色）をタップすると、ブックマークに追加できます。ブックマークに追加済みの履歴には （黄色）が表示されます。

2 表示したいウェブページをタップする

お知らせ

- 履歴の一覧で →「履歴を消去」をタップすると、履歴をすべて削除できます。
- 履歴の一覧で →「設定」をタップすると、ウェブブラウザを設定できます（P.263）。

ウェブページをブックマークに追加する

1 ブラウザ画面で （灰色）

2 ラベルを確認／変更 →「登録」欄 → ブックマークの追加先を選択 →「OK」

ブックマークからウェブページを表示する

1 ブラウザ画面で [icon] →「ブックマーク」タブ

ブックマークの一覧が表示されます。

2 表示したいフォルダー → ウェブページをタップする

お知らせ

- ブックマークの一覧で各操作アイコンをタップすると、次の操作ができます。
  - [icon] / [icon]：一覧の表示方法を切り替えます。
  - [icon]：ブックマークを追加します。
  - [icon]：フォルダーの作成、フォルダーやブックマークの移動／削除／並べ替えができます。フォルダーやブックマークを移動するには、画面右側のフォルダー／ブックマークをロングタッチし、画面左側の移動したいフォルダーまでドラッグします（横画面表示のときのみ）。
- ブックマークの一覧で [icon] をタップすると、ウェブブラウザを設定できます（P.263）。

■ 履歴／ブックマークのメニュー

履歴／ブックマーク／ブックマークのフォルダーをロングタッチすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
開く	表示中のウィンドウでウェブページを開きます。
新しいタブで開く	新しいタブでウェブページを開きます。
ブックマークに追加※1	ブックマークに追加します。
ブックマーク編集※2	ブックマークを編集します。
ホームにショートカットを作成※2	ホーム画面にブックマークのショートカットを追加します。
リンクを共有	ウェブページのURLを、Bluetooth通信／Eメール／Gmail ／ SMS ／ Wi-Fiなどで送信します。
URLをコピー	ウェブページのURLをコピーします。
履歴から削除※1	履歴から削除します。

項目	説明
ブックマークを削除	ウェブページがブックマークに追加されている場合に、ブックマークから削除します。
ホームページに設定	ウェブページをホームページとして設定します。
すべて新しいタブで開く※3	ブックマークに追加されているすべてのウェブページを、新しいタブで開きます。
フォルダー名を編集※3	フォルダーの名前を変更します。
フォルダーを削除※3	フォルダーを削除します。

※1　履歴の一覧でのみ表示されます。
※2　ブックマークの一覧でのみ表示されます。
※3　ブックマークのフォルダーをロングタッチしたときのみ表示されます。

ウェブブラウザを設定する

1 ブラウザ画面で ≡ →「設定」

2 「一般」／「プライバシーとセキュリティ」／「詳細設定」／「ラボ」→ 設定したい項目をタップする

■ 一般

項目	説明
ホームページを設定	ホームページを設定します。
Google Chromeと同期	Google Chromeとブックマークなどのデータを共有します。
オートフィル	「オートフィルデータ」で登録したフォームデータを、Webフォーム欄をタップして入力できるようにします。
オートフィルデータ	Webフォーム欄に自動入力するフォームデータを登録します。

■ プライバシーとセキュリティ

項目	説明
キャッシュを消去	キャッシュデータを消去します。
履歴を消去	閲覧履歴を消去します。
セキュリティ警告を表示	ウェブページの安全性に問題がある場合に警告を表示します。
Cookieを許可	Cookieの保存・読み取りを許可します。
Cookieを消去	保存されたCookieを消去します。
文字入力履歴を保存	ウェブページに入力した文字を記憶させます。
文字入力履歴を消去	保存された文字入力履歴を消去します。
位置情報を有効	本端末の位置情報へのアクセスを許可します。
位置情報を消去	本端末の位置情報を消去します。
パスワードを保存	ウェブページに入力したユーザ名・パスワードを記憶させます。
パスワードを消去	記憶されたユーザ名・パスワードを消去します。

■ 詳細設定

項目	説明
検索設定	検索する際に利用する検索エンジンを設定します。
バックグラウンドに表示	新しいタブを表示中のタブの後ろに表示します。
Javaスクリプトを有効	Javaスクリプトを有効にします。
プラグインを有効	プラグインを有効にします。
サイト設定	位置情報にアクセスしたウェブページなどの詳細情報を表示します。
全体を表示	新しく開いたウェブページを全体表示します。
ページの自動調整	画面に合わせてウェブページを表示するようにします。
ポップアップタブをブロック	ポップアップタブをブロックします。
画像の読み込み	画像表示の有無を設定します。
文字コード	文字コードを設定します。
設定リセット	データ消去と設定リセットを行い、ブラウザをお買い上げ時の状態に戻します。

■ラボ

項目	説明
クイックコントロール	画面上部のタブや操作アイコンなどの表示を消し、クイッククコントロールでブラウザを操作するかどうかを設定します。 • クイックコントロールは、画面の左端／右端をロングタッチすると表示されます。そのまま実行したい操作アイコンまで指をドラッグして離すと、ブラウザの操作ができます。
よく見るページ	ブラウザを起動したとき、よく見るページの一覧を表示するかどうかを設定します。
Googleインスタント	Google検索を行う際、入力中の文字に合わせて検索結果を更新するGoogleインスタントを利用するかどうかを設定します。

Google トーク

Google トークを利用して、登録した相手とチャットができます。

- Google トークを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合、設定を行ってから操作してください（P.80）。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「トーク」

お知らせ

- Google トークの詳細については、Google トークの画面で ≡ →「ヘルプ」をタップして、Google トークのヘルプをご覧ください。

ファイル管理

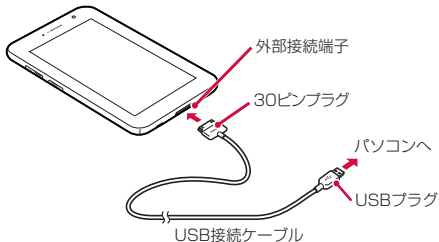
ファイル操作について

本端末とパソコンを付属のＵＳＢ接続ケーブルで接続すると、パソコンとデータのやりとりや、データの同期、Samsung Kiesを利用してデータの同期やファームウェアの更新ができます。
「マイファイル」を利用すると、本端末に保存されているデータの表示や管理ができます。

- 本端末をUSB接続ケーブルでパソコンに接続して認識させるには、Samsung Kiesと専用のドライバをパソコンにインストールする必要があります。Samsung Kiesや専用のドライバのダウンロード、その他詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  http://www.samsung.com/jp/support/download.html

USB接続ケーブルで接続する

1 **USB接続ケーブルで本端末をパソコンに接続する**

30ピンプラグは、「SAMSUNG」の印字面を上にして本端末の外部接続端子に水平に差し込みます。

2 使い終わったら、本端末からUSB接続ケーブルの30ピンプラグを水平に引き抜く

お知らせ

- USB接続ケーブルのUSBプラグはパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USB HUBやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- データ転送中にUSB接続ケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- USB接続ケーブルをパソコンから取り外すときは、USBプラグを水平に引き抜いてください。

本端末のフォルダー構成

本端末をパソコンに接続すると、本端末はパソコンでは「SC-02D」という名前で認識され、パソコンとやりとりできるデータは「Tablet」フォルダーに保存されています。

- お買い上げ時の「Tablet」フォルダー内のフォルダー構成は次のとおりです。
  - Alarms
  - Android※
  - DCIM
  - Download
  - Movies
  - Music
  - Notifications
  - peel
  - Pictures
  - Podcasts
  - Ringtones

  ※ 本端末の状態によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

お知らせ

- 通信でデータを受信したり、特定のアプリケーションを起動したりすると、実行した操作やデータの種類に対応したフォルダーが、「Tablet」フォルダー内に自動的に作成されます。

フォルダーやファイルの操作

- 「USBデバッグ」のチェックを外した状態で操作してください。「USBデバッグ」の設定は、ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「アプリケーション」→「開発」をタップして確認できます。

パソコンとデータをやりとりする

1 本端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続する

本端末がパソコンに認識されます。

- 自動再生の確認画面が表示された場合は、任意で自動再生の設定を行ってください。

2 パソコンで「マイコンピュータ」→「SC-02D」→「Tablet」を選択する

本端末内のフォルダー一覧が表示されます。

3 データをドラッグ＆ドロップする

Windows Media Playerとデータを同期する

パソコンの音楽や動画などのデータを本端末と同期します。

1 本端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続する

本端末がパソコンに認識されます。

- 自動再生の確認画面が表示された場合は、任意で自動再生の設定を行ってください。

2 パソコンのWindows Media Playerを起動し、同期を実行する

お知らせ

- 著作権保護されたデータは、転送時に使用した端末以外では再生できない場合があります。
- データによっては著作権保護されているため再生できないものがあります。

Samsung Kiesを利用する

Samsung Kiesを利用して、連絡先やカレンダー、音楽／動画などのデータを本端末と同期したり、本端末のファームウェアを更新したりできます。

- Samsung KiesはSamsungのホームページからダウンロードして、パソコンにインストールします。詳細については以下のホームページをご覧ください。

  http://www.samsung.com/jp/support/kies.html

1 パソコンでSamsung Kiesを起動する

Samsung Kiesの使いかたについては、ヘルプメニューの「Kiesチュートリアル」をご覧ください。

2 本端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続する

Wi-FiでSamsung Kiesに接続する

Wi-Fiを利用してパソコンと接続し、Samsung Kiesと接続できます。

- Wi-Fiネットワーク接続をあらかじめ設定しておいてください（P.76）。

1 パソコンでSamsung Kiesを起動する

2 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-FiでKies接続」

3 検索されたデバイス名をタップする

パソコンで本端末が認識されたら、Samsung Kiesの画面で「はい」をクリックします。

- 接続を終了するには「キャンセル」をタップします。

お知らせ

- パソコンと本端末は、必ず同じWi-Fiネットワークに接続してください。

マイファイルを利用する

本端末に保存されている静止画や動画、音楽や文書などさまざまなデータの表示や管理を行えます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「マイファイル」

2 利用したいフォルダー → ファイルをタップする

表示／再生したいアプリを選択すると、選択したファイルが表示／再生されます。

送信やコピー、削除などの操作を行う場合

操作したいフォルダー／ファイルにチェックを付ける → （送信）／（コピー）／（切り取り）／（削除）をタップします。

- コピーや切り取りを行った場合は、をタップすると貼り付けられます。
- フォルダーにチェックを付けた場合、送信操作はできません。

フォルダーを作成する場合

→ フォルダー名を入力 →「完了」をタップします。

フォルダー／ファイル一覧の表示方法を切り替える場合

/ をタップします。

一番上の階層に戻る場合

をタップします。

ファイルを検索する場合

→ 検索語を入力します。

お知らせ

- フォルダー／ファイルにチェックを付けて ≡ →「名前を変更」／「詳細」をタップすると、名前の変更や詳細情報の確認ができます。
- ≡ →「設定」をタップすると、隠しファイルや拡張子の表示／非表示、ホームディレクトリを設定できます。

Bluetooth通信

本端末とBluetoothデバイスを無線で接続し、データをやりとりできます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、P.376をご覧ください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書もご覧ください。
- 本端末とすべてのBluetoothデバイスとの無線接続を保証するものではありません。

■ Bluetooth機能使用時のご注意

1. 本端末と他のBluetoothデバイスとは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線ＬＡＮ対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetoothデバイスと無線LAN対応機器は、20m以上離してください。
2. 20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスまたは無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■ Bluetooth機能のパスワードについて

Bluetooth機能のパスワードは、接続するBluetoothデバイスどうしが初めて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスワード（最大16文字の半角英数字）を入力する必要があります。

- 本端末ではパスワードを「PIN」と表示している場合があります。

Bluetooth機能を有効にして本端末を検出可能にする

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「Bluetooth設定」

2 「Bluetooth」にチェックを付ける

3 「デバイスの公開」にチェックを付ける

本端末が他のBluetoothデバイスから約120秒間検出可能になります。

- 公開時間を変更するには、「デバイスの公開時間」→ 公開時間をタップします。

本端末に名前を付ける場合

「デバイス名称」→ 端末名を入力 →「OK」をタップします。

お知らせ

- Bluetooth機能を使用しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth機能を無効にしてください。
- Bluetooth機能の有効／無効設定は、電源を切っても変更されません。

他のBluetoothデバイスとペアリング／接続する

本端末と他のBluetoothデバイスをBluetooth機能で接続し、データのやりとりを行うには、あらかじめ他のデバイスとペアリング（接続設定）を行い、本端末に登録後、接続を行います。

- Bluetoothデバイスによっては、ペアリングのみ行うデバイスと接続まで続けて行うデバイスがあります。
- SCMS-T非対応のBluetoothデバイスで音楽再生はできません。

1 **Bluetooth設定画面で「近くの端末を検索」**

検出されたBluetoothデバイスが一覧表示されます。

2 **接続したいデバイスをタップする**

接続が完了するとBluetoothデバイスの下に「ペアリング済み」と表示されます。

- ペアリングの確認画面が表示された場合は、「ペア」をタップします。
- Bluetoothデバイスによっては、デバイスをタップするとペアリング完了後、続けて接続まで行う場合があります。接続された場合は、Bluetoothデバイスの下に「接続しました。」と表示されます。
- パスワード（PIN）の入力画面が表示された場合は、パスワード（PIN）を入力→「OK」をタップします。

■ 他のデバイスからペアリング要求を受けた場合

Bluetooth通信のペアリングを要求する画面が表示された場合は、「ペア」をタップします。

- パスワード（PIN）の入力画面が表示された場合は、パスワード（PIN）を入力→「OK」をタップします。

■ 接続を解除する場合

Bluetoothデバイスの一覧表示で、接続中のデバイス →「OK」をタップします。

■ 登録済みデバイスの接続状況などを確認する場合

Bluetoothデバイスの一覧表示で、確認したいデバイスの をタップします。

- デバイス名を変更する場合は、「デバイス名称を変更」→ 名称を変更 →「OK」をタップします。
- 自動接続の設定を変更する場合は、変更したいプロファイルの →「自動接続」にチェックを付ける／「自動接続」のチェックを外します。「自動接続」のチェックを外すと、設定／通知パネルからBluetooth機能を有効にしたときにBluetoothデバイスが接続可能な場合は、ステータスバーに が表示されます。

ペアリングを解除する

1 Bluetoothデバイスの一覧表示で、ペアリングを解除したいデバイスの →「ペアリングの解除」

Bluetooth機能でデータを送受信する

- あらかじめ本端末のBluetooth機能を有効にし、検出可能にしてください。

Bluetooth機能でデータを送信する

連絡先（vcf形式の名刺データ）、カレンダーなどのデータや、静止画、動画などのファイルを、他のBluetoothデバイス（パソコンなど）に送信できます。

- 送信は各アプリケーションのメニューなどから送信操作を行ってください。

Bluetooth機能でデータを受信する

1 送信側からデータを送信する

ステータスバーに が表示されます。

2 設定／通知パネルを開き、「ファイルを受信中...」→「承認」

ステータスバーに が表示され、データの受信が開始されます。

- 設定／通知パネルで受信状態を確認できます。
- 受信の完了後、設定／通知パネルで「Bluetooth：受信済みファイル」をタップすると、受信したデータの一覧が表示されます。表示／再生したいデータをタップすると、受信したデータを確認することができます。
- Bluetooth設定画面で「受信ファイルを表示」をタップしても、受信したファイルを確認できます。

AllShare接続

Wi-Fi機能を利用して、他のDLNA（Digital Living Network Alliance）対応機器とファイルを共有することができます。

- AllShareを利用するには、他の機器とのWi-Fiネットワーク接続をあらかじめ設定しておいてください（P.76）。
- 機器の種類によっては一部のファイルを再生できない場合があります。

DLNAを設定する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「AllShare」

2 ⚙ → 以下の設定を行う

項目	説明
メディアサーバー名	サーバ名として相手機器に表示される名前を設定します。
共有メディア	共有するメディアの種類を設定します。
アクセスポイントネットワーク	接続先を選択します。
他のデバイスからアップロード	他の機器からアップロードされたときの応答を設定します。
標準保存先	ダウンロードしたデータの保存先を設定します。

他のDLNA機器とファイルを共有して利用する

1 画面左の機器リストから、利用したいファイルのある機器をタップする

機器が表示されない場合は、 をタップして再度検索します。

- 機器をロングタッチ →「詳細」で詳細情報を確認できます。

2 「ビデオ」／「写真」／「音楽」→ 再生したいファイルをタップする

相手機器のファイルを本端末に保存する場合

 → 保存したいファイルにチェックを付ける →「OK」をタップします。

ファイルを再生する機器を切り替える場合

 → 切り替えたい機器をタップします。

3 本端末でファイルの再生操作を行う

お知らせ

- ネットワーク接続や相手機器の状態によっては、再生が中断される場合があります。
- 本端末のデータを他の機器に送信するには、操作1で「マイデバイス」→ 送信したいデータが保存されているフォルダー → → 送信したいファイルにチェックを付ける →「OK」→ 送信先の機器をタップします。ただし、ファイルによっては送信できない場合があります。

アプリケーション

カメラ

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

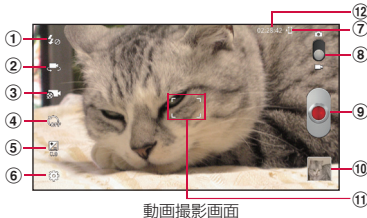
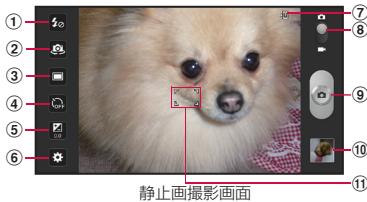
カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が出ることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、本端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時に本端末が動くと、撮影画像がぶれる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 静止画の連続撮影や動画の長時間撮影など、カメラを長時間起動していると本端末が温かくなり、カメラが自動的に終了することがありますが、故障ではありません。しばらく時間をおいてからご使用ください。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のシャッター音や動画撮影の開始音、終了音は鳴りますのでご注意ください。

撮影画面の見かた

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「カメラ」

静止画撮影画面

動画撮影画面

① **フラッシュ設定**
フラッシュを使用するかどうかを設定します。

② **リアカメラ／フロントカメラの切り替え**

③ **撮影モード切り替え**
（通常撮影） ※1
通常の静止画を撮影します。
（スマイル撮影） ※1
被写体の笑顔を検出して撮影します。
（パノラマ） ※1
最大8枚の静止画を撮影／連結するパノラマ写真を撮影します。をタップして1枚目を撮影してからカメラを上下左右に動かすと、緑色の枠が表示されます。その枠を画面中央に捉えるようにカメラを向けていくと、自動的に2枚目以降が撮影されます。
（アクション撮影） ※1
動く被写体を1枚のパノラマ写真に収める連続撮影ができます。
（標準） ※2
通常の動画を撮影します。
（Eメール用制限） ※2
Eメールに添付できるサイズの動画を撮影します。

④ **タイマー**

⑤ **露出補正**

⑥ **設定（P.291）**

⑦ **静止画／動画の保存先**

⑧ **静止画／動画撮影切り替え**

⑨ **撮影**

⑩ **サムネイル表示**
タップするとプレビュー画面が表示され、撮影した静止画／動画の確認ができます。

⑪ **オートフォーカス枠**
緑：オートフォーカス成功　　赤：失敗
撮影画面をタップするか、または をロングタッチすると、あらかじめピントを合わせた状態で固定できます。

⑫ **録画可能時間**※2

※1　静止画の撮影時のみ表示されます。
※2　動画の撮影時のみ表示されます。

お知らせ

- カメラを起動した状態で約2分間何も操作をしないと、カメラは終了します。
- プレビュー画面をタップするとメニューが表示され、以下の操作ができます。
  - 「共有方法を選択」をタップすると、PicasaやYouTubeへのアップロードやAllShareでのデータ共有、Bluetooth機能やGmailでの送信などができます。
  - 「登録」をタップすると、静止画をホーム画面の壁紙や連絡先の画像などへ設定できます。静止画のプレビュー画面でのみ操作できます。
  - 「削除」をタップすると、データを削除できます。
  - 「ギャラリーに移動」をタップすると、ギャラリーのアプリケーションで表示します。
- 撮影画面をタップすると、オートフォーカス枠にある被写体にピントを固定した状態で保持します。 をタップすると撮影されます。

撮影前の設定をする

1 静止画／動画撮影画面で ⚙ → 必要な項目を設定する

項目によっては同時に設定できない場合があります。

項目		説明
ショートカットを編集		ショートカットの編集を行います。
自分撮り		内側カメラで撮影を行います。
フラッシュ		撮影時にフラッシュを使用するかどうかを設定します。
撮影モード	通常撮影※1	通常の静止画を撮影します。
	スマイル撮影※1	被写体の笑顔を検出して撮影します。
	パノラマ※1	最大８枚の静止画を撮影／連結するパノラマ写真を撮影します。
	アクション撮影※1	動く被写体を１枚のパノラマ写真に収める連続撮影ができます。
	標準※2	通常の動画を撮影します。
	Ｅメール用制限※2	Ｅメールに添付できるサイズの動画を撮影します。

項目	説明
シーン撮影※1	風景撮影や夜景撮影など、シーンに応じたモードを設定します。
露出補正	露出補正を設定します。
フォーカス※1	フォーカスの設定を「自動」「マクロ」から選択します。
タイマー	セルフタイマーを設定します。
撮影効果	画像に特殊な効果をかけて撮影します。
解像度	撮影する解像度（サイズ）を選択します。
ホワイトバランス	撮影時の光の状況を選択して、画像の色合いを補正します。
測光※1	測光方法を設定します。
アウトドアモード	アウトドアモードで撮影するかを設定します。
補助グリッド	撮影画面に補助グリッドを表示するかどうかを設定します。
GPSタグ※1	静止画に位置情報を付加するかどうかを設定します。
ストレージ	撮影した静止画／動画の保存先を選択します。
リセット	カメラの設定をリセットします。

※1　静止画の設定時のみ表示されます。
※2　動画の設定時のみ表示されます。

2 **設定が終了したら、[戻る]またはメニュー以外の場所をタップする**

静止画を撮影する

1 静止画撮影画面で被写体にカメラを向ける → [icon]

シャッター音が鳴り、撮影されます。
撮影した静止画は自動的に保存されます。

- [icon] をロングタッチすると、指が触れている間はオートフォーカス枠にある被写体にピントを固定した状態で保持します。[icon] から指を離すと撮影されます。

お知らせ

- 撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。

動画を撮影する

1 静止画撮影画面で [icon] をスライドして動画撮影に切り替える

2 被写体にカメラを向ける → [icon]

開始音が鳴り、動画撮影が始まります。

- 撮影画面の右上に録画時間が表示されます。

3 撮影を停止するときは、[icon]

終了音が鳴り、撮影した動画が保存されます。

お知らせ

- 動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。

ギャラリー

本端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。

対応しているファイルの種類と形式は以下のとおりです。

種類	ファイル形式
静止画	BMP、WBMP、GIF、AGIF、JPEG、PNG
動画	MP4/3GP、AVI/DivX、MKV、WMV/ASF、FLV、WebM

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「ギャラリー」

アルバムの一覧画面が表示されます。

- をタップするとカメラが起動します。
- をタップしてから、アルバムやファイルをタップすると詳細を確認できます。

2 アルバムをタップする

データの一覧画面が表示されます。

- 「アルバム別」や、→「画像とビデオ」をタップすると表示方法や表示対象データを変更できます。
- →「オフラインで使用」をタップし、アルバムを選択すると、選択したアルバムの画像が端末に保存され、オフラインで利用できます。

静止画／動画を閲覧する

1 データの一覧画面で閲覧する静止画／動画をタップする

静止画の場合は拡大表示され、動画の場合は動画再生アプリケーション（P.296）が選択できます。

お知らせ

- アルバム／データの一覧画面で、いずれかのアルバム／データをロングタッチ、または静止画表示中に画面をタップすると、以下の操作ができます。（表示中の画面により、表示される項目は異なります。）
  - （詳細）：詳細を確認します。
  - （スライドショー）：静止画や動画の1コマ目をスライドショーで表示します。
  - （共有）：PicasaやYouTubeへのアップロードやAllShareでのデータ共有、Bluetooth機能やGmailでの送信などができます。
  - （削除）：データを削除します。
  - （メニュー）：詳細の確認、壁紙や連絡先への登録、切り取り、左右回転などの操作ができます。

動画

本端末に保存されている動画を簡単に再生できます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「動画」

2 画面上部のタブをタップする

動画の一覧が表示されます。表示方法を「サムネイル」「リスト表示」に切り替えることができます。「フォルダー」をタップすると、動画が保存されているフォルダーごとに分類表示されます。

3 動画をタップする

動画の再生が開始されます。
画面をタップすると操作アイコンが表示され、以下の操作ができます。

項目	説明
	タップして消音のオン／オフを設定します。音量バーで音量を調節します。
5.1ch	マイク付ステレオヘッドセット（試供品）使用時に、5.1chサラウンドの音声を楽しむことができます。
／／	動画の表示サイズを切り替えます。
	AllShareでのデータ共有ができます。

項目	説明
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
／	タップするとデータの先頭／次のデータにスキップします。ロングタッチすると早戻し／早送りします。
／	再生／一時停止します。
	動画の再生中に、お好みの位置をマーカーとして登録できます。

お知らせ

- 再生画面で画面ロックを設定すると が表示され、画面をタップしても動作しないようにできます。

動画のメニュー

一覧画面や再生画面で ≡ をタップすると、以下の操作メニューが表示されます。

- 利用できる機能はデータの種類や画面によって異なります。

■ 一覧画面

項目	説明
ソート	一覧表示の順番を変更します。
共有方法を選択	YouTubeへのアップロードやAllShareでのデータ共有、Bluetooth機能やGmailでの送信などができます。
削除	一覧表示から削除します。
次のビデオを自動再生	再生終了後に、次の動画ファイルの再生を自動的に開始するかどうかを設定します。

■ 再生画面

項目	説明
共有方法を選択	YouTubeへのアップロード、Bluetooth機能やGmailでの送信などができます。
ブックマーク	動画に登録されているマーカーの位置から再生します。
色調	色調を標準／暖色／寒色から選択します。
アウトドアモード	屋外での再生時に画面を見やすくします。
次のビデオを自動再生	再生終了後に、次の動画ファイルの再生を自動的に開始するかどうかを設定します。
詳細	データの詳細を確認します。

DivX® VODの登録キーを確認する

本端末でDivX®ビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、登録手続きが必要です。
登録に必要なコードは、以下の方法で確認できます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「端末情報」→「法定情報」→「ライセンス設定」→「DivX® VOD」→「登録」

登録コードが表示されます。

- 登録方法などの詳細については、http://vod.divx.com をご覧ください。

音楽プレーヤー

本端末やmicroSDカードに保存されている音楽を簡単に再生できます。
再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、楽曲によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式
AAC、AMR、WMA、3GP、MP4/M4A、MP3、FLAC、OGG、WAV、MID/XMF/MXMF、RTTTL/RTX、OTA、IMY

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「音楽プレーヤー」
楽曲の分類方法を選択するタブの画面が表示されます。

2 画面左側のタブを選択 → 再生したいデータをタップする
再生が開始されます。
選択したタブ画面で再生している場合は、画面の右または下に表示されている操作バーのジャケットアイコンをタップすると再生画面が表示され、以下の操作ができます。

項目	説明
i	データの詳細情報を表示します。詳細情報表示中に 🔍 をタップすると関連情報を検索できます。
≡♫	一覧画面が表示されます。

項目	説明
／	をタップしてにすると、「プレイリスト」タブ画面の「お気に入り」欄に表示されます。
	タップして消音のオン／オフを設定します。音量バーで音量を調節します。
5.1ch	マイク付ステレオヘッドセット（試供品）使用時に、5.1chサラウンドの音声を楽しむことができます。
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
／	シャッフル機能のオン／オフを設定します。
／	再生／一時停止します。
／	タップするとデータの先頭／次のデータにスキップします。ロングタッチすると早戻し／早送りします。
A／A／1	リピートモードを設定します（リピートなし／全曲リピート／その曲をリピート）。

お知らせ

- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続している場合（P.306）、スイッチを1秒以上押すと本アプリケーションを起動することができます。本アプリケーションが起動しているときは、スイッチを押すたびに再生／一時停止の切り替えができます。
- 音楽の再生中に画面ロックを設定しても再生は継続されます。

音楽再生を終了する

1 → 「タスクマネージャー」→「音楽プレーヤー」の ⊗ をタップする

- 音楽の再生を行った場合、 や をタップしてホーム画面に戻っても音楽再生は終了しません。

プレイリストを作成する

1 各タブ画面で → 「新しいプレイリスト」

2 プレイリスト名を入力 → 「OK」→ 追加したいデータをタップ → 「完了」

再生画面で → 「プレイリストに追加」をタップすると、プレイリストに追加することもできます。

プレイリストを編集する

■ プレイリストやプレイリスト内のデータを削除する

1 「プレイリスト」タブ画面で削除したいプレイリストをタップ → 🗑 → 削除するプレイリスト／データにチェックを付ける →「削除」→「OK」

■ プレイリストに曲を追加する

1 「プレイリスト」タブ画面で編集したいプレイリストをタップ → ♫ → 追加したいデータをタップ →「完了」

■ プレイリスト内の曲順を並べ替える

1 「プレイリスト」タブ画面で編集したいプレイリストをタップ → ⇕ → ⠿ を移動したい位置までドラッグ →「完了」

音楽プレーヤーのメニュー

各タブの画面や再生画面で をタップすると、以下の操作メニューが表示されます。

■各タブ画面

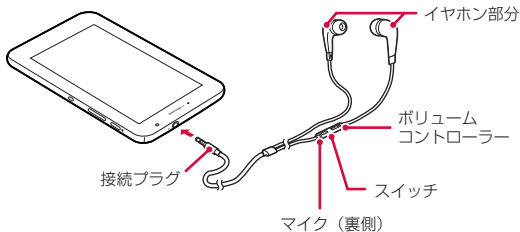
項目		説明
削除※1		データを削除します。
共有方法を選択		AllShareでのデータ共有、Bluetooth機能やGmailでの送信などができます。
登録※2	着信音	着信音を設定します。
	個別着信音	個別着信音を設定します。
	アラーム音	アラーム音を設定します。
プレイリストの名前を変更※3		プレイリスト名を変更します。
設定	詳細設定	サウンド設定や音楽再生を自動的に終了する時間を設定できます。
	音楽メニュー設定	タブに表示する項目を設定できます。

※1 「プレイリスト」タブ以外の画面で表示されます。
※2 「曲」と「プレイリスト」タブ画面で表示されます。
※3 作成したプレイリスト画面で表示されます。

■ 再生画面

項目		説明
プレイリストに追加		新しく作成したプレイリストや、既存のプレイリストに曲を登録することができます。
Bluetooth		Bluetooth機器と接続してBluetooth機器から曲を聴くことができます。
共有方法を選択		Bluetooth機能やGmailでの送信などができます。
登録	着信音	着信音を設定します。
	個別着信音	個別着信音を設定します。
	アラーム音	アラーム音を設定します。
設定	詳細設定	サウンド設定や音楽再生を自動的に終了する時間を設定できます。
	音楽メニュー設定	タブに表示する項目を設定できます。

マイク付ステレオヘッドセットの使いかた

本端末にマイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続します。

1 **マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込む**

- 接続プラグはヘッドホン接続端子の奥まで正しく差し込んでください。

マーケット

Androidマーケットのご利用には、Googleアカウントの設定が必要です（P.80）。

アプリケーションをインストールする

1 **ホーム画面で「マーケット」**

Androidマーケットを初めて開くと利用規約が表示されるので、「同意する」をタップします。

2 **ダウンロードしたいアプリケーションを検索し、タップ → 詳細を確認する**

3 **「ダウンロード」（無料アプリケーションの場合）または金額欄（有料アプリケーションの場合）**

アプリケーションが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するのか表示されます。

4 **「同意してダウンロード」（無料アプリケーションの場合）または「同意して購入」（有料アプリケーションの場合）**

ダウンロードとインストールが完了したら、ステータスバーに が表示されます。

- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。この画面で「同意してダウンロード」または「同意して購入」を選択すると、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。

アプリケーションを購入する場合

詳しくは ▤ →「ヘルプ」をタップしてAndroidマーケットヘルプをご覧ください。

お知らせ

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。
- 購入したアプリケーションに満足しない場合、規定の時間内であれば削除と返金要求ができます。詳しくは ▤ →「ヘルプ」をタップしてAndroidマーケットヘルプをご覧ください。

Samsung Apps

Samsung Appsを利用して、Samsung社のおすすめする豊富なアプリケーションを簡単にダウンロードすることができます。

Samsung Appsを開く

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「Samsung Apps」

Samsung Appsを初めて開くと免責条項が表示されるので、「同意する」をタップします。

2 利用したいアプリケーションを検索してダウンロードする

お知らせ

- Samsung Appsは国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳しくはSamsung Appsサイト内のサポートページをご覧ください。

GPS／ナビ

Googleマップを利用して、現在地や別の場所を検索したり、目的地への道案内情報を取得したりできます。

- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態（3G／GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

位置情報を有効にする

- 位置情報を利用するアプリケーションを使用するには、あらかじめGPS機能を有効にしておく必要があります。また、Wi-Fi／モバイルネットワークを利用して、より正確に位置情報を検出できるように設定できます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「位置情報とセキュリティ」

2 検出する方法にチェックを付ける

すべてを有効にすることもできます。

項目	説明
無線とネットワークの使用	Wi-Fi／モバイルネットワークで位置情報を検出できます。
GPS機能の使用	より精度の高い位置情報を検出できます。ただし本端末の電池消費量が大きくなります。

GPSの利用にあたって

- GPSシステムのご利用には十分ご注意ください。システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用ＧＰＳとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、ＧＰＳシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■受信しにくい場所

ＧＰＳは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

Googleマップを開く

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「マップ」

初めて起動したときは「マップの新機能」画面が表示され、「OK」をタップするとマップが表示されます。

Google Latitudeで所在地を確認する

地図上で友人と位置を確認しあったり、メールを送ったりできます。友人の現在地への経路を検索したりすることもできます。

- 位置情報を共有するには、Latitudeに参加して位置情報を共有する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する／Latitudeを開く

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「Latitude」

- Google マップで地図を表示中の場合は、 → 「Latitudeに参加」／「Latitude」をタップします。

お知らせ

- Latitudeの詳細については、Latitudeの画面で → 「ヘルプ」をタップして、モバイルヘルプをご覧ください。

Googleマップナビを利用する

目的地までの運転経路を検索し、ナビゲーションを利用できます。

- 地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 走行中は必ず、ドライバー以外の方が操作を行ってください。

ナビゲーションを開始する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「ナビ」

- 初めて起動した場合は、ご利用の注意画面が表示されます。「同意する」をタップすると目的地の選択画面が表示されます。

2 「目的地を入力」→「目的地」欄に地名などを入力 → 候補地の一覧から目的地をタップする

ナビゲーションが開始されます。

- 「目的地を音声入力」「連絡先」などをタップして目的地を音声入力したり、電話帳に登録されている住所などを利用したりすることもできます。

ナビゲーションを終了する

1 ナビゲーション中の画面で ▤ →「ナビの終了」

- ナビゲーション中の画面で ⌂ をタップしてホーム画面に戻っても、ナビゲーションは終了しません。

お知らせ

- Googleマップナビの詳細については、ナビゲーション中の画面で ▤ →「ヘルプ」をタップして、モバイルヘルプをご覧ください。

プレイスを利用する

Googleマップを利用して、現在地周辺のレストランやアトラクションなどを検索できます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「プレイス」→ 検索したいカテゴリを選択 → 確認したい情報をタップする

検索したいカテゴリがない場合は、画面上部のキーワード入力欄に検索したいカテゴリや店名などを入力します。
カテゴリを追加する場合は「追加」→ カテゴリなどを入力します。

YouTube

YouTubeは無料のオンライン動画ストリーミングサービスです。動画を再生したり投稿したりすることができます。

動画を再生する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「YouTube」

2 再生したい動画をタップする

動画が再生されます。
画面をタップすると以下のアイコンが表示されます。
／：タップして一時停止／再生の切り替えができます。
：左右にドラッグして早戻し／早送りができます。
HD／HD：タップして高画質（HD）再生のオン／オフを設定できます。
／：タップして再生画面の拡大／縮小ができます。画面をダブルタップしても拡大／縮小できます。

動画を投稿する

本端末から自分で撮影した動画を投稿できます。

- YouTubeに動画を投稿するには、GoogleアカウントまたはYouTubeアカウントでYouTubeにログインする必要があります。

1 YouTubeのホーム画面で「マイチャンネル」→「アップロード」

2 ギャラリーで投稿する動画をタップする
アップロードの詳細画面が表示されます。

3 必要な項目を入力・設定 →「アップロード」
動画がアップロードされます。

カレンダー

カレンダーを利用してスケジュールを管理できます。本端末のカレンダーとGoogleなどオンラインサービスのカレンダーを同期することもできます。

カレンダーの予定を表示する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「カレンダー」

2 画面上部のタブで表示方法を選択 → 予定をタップする

カレンダーの予定を作成する

1 各タブ画面で＋

- Googleアカウントにログインしていない状態で予定を作成／編集しようとすると、メッセージが表示されます。「アカウントへ移動して同期」にチェックを付けて「完了」をタップすると、Googleアカウントのログイン画面が表示されます。
- Googleアカウントにログインした状態で、予定を作成／編集しようとしたときにメッセージが表示された場合は、「完了」をタップしてください。

2 予定のタイトルや日時、場所など詳細を入力する

「お知らせ」を設定すると、予定の開始時刻などをアラームで通知できます。
複数のカレンダーアカウントを持っている場合は、「カレンダー」をタップして選択します。

3 「完了」

お知らせ

- 予定表示中に編集／削除するには、予定をタップし、🗑／「編集」をタップします。
- 予定表示中にvCalendar形式で送信するには、予定をタップし、「送信」をタップします。
- 「日」／「週」／「月」タブ画面で時刻や日をロングタッチして、1時間または終日の予定を簡単に入力することもできます。

予定のアラームを解除またはスヌーズを設定する

アラームが通知された場合は、以下の操作を行います。

1 **ステータスバーの → 通知をタップ → アラームの解除またはスヌーズ※を設定する予定にチェックを付ける →「スヌーズ」／「解除」**

「全て選択」をタップすると、全ての予定のアラームを解除またはスヌーズを設定できます。

※ スヌーズとは、いったんアラームのスイッチを切ってもしばらくするとアラームが鳴るようにする機能です。

カレンダーの設定を変更する

カレンダーの表示方法などの詳細を設定します。

1 **カレンダー画面で → 「設定」**

2 **変更したい設定を選択する**

アラーム

指定した時刻に音やバイブレーションでお知らせします。

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「アラーム」**

2 **＋ → 時刻やアラーム音などを設定 →「完了」**

⚙ をタップすると、アラームの音量やスヌーズなどの設定ができます。

お知らせ

- アラームの設定時刻になると、アラームが動作します。 ☒ をドラッグすると、アラームを停止します。また、 zz をドラッグすると、スヌーズを設定した時間の経過後に再度アラームが鳴動します。
- 登録したアラームをオフにするには、 ⏰ をタップして ⏰ にします。
- 登録したアラームを削除するには、登録したアラームをタップして「削除」→「OK」をタップします。
- マナーモード設定中でも、設定したアラームの音量でアラームが動作します。

世界時計

登録した都市の日付と時刻を一覧で確認できます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「世界時計」

2 ＋ → 登録したい都市を選択 → ＋

お知らせ

- 登録した都市を並べ替えるには、 → を移動したい位置までドラッグ →「完了」をタップします。
- 登録した都市を削除するには、 → 削除する都市にチェックを付ける →「リストから削除」をタップします。

電卓

四則演算（＋、－、×、÷）やパーセント計算、関数計算などができます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「電卓」

メモ

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「メモ」

2 → 文章を入力

- 画面上の をタップするとメモのメニューが表示され、以下の操作ができます。

メモを削除する場合

→「OK」をタップします。

- 作成が完了したメモのみ削除できます。

メモの色を変更する場合

→ 色をタップします。

メモを保護する場合

をタップします。

- コンテンツロック用のPINを設定していない場合は、コンテンツロック用のPINを入力します。
- 保護を解除するには、 をタップ→コンテンツロック用のPINを入力→「OK」をタップします。

メモを印刷する場合

→「OK」をタップします。

メモの内容をSNSに登録する場合

→ メモを登録したいSNSにチェックを付ける →「OK」をタップします。

- SNSにログインしていない場合は、SNSにログインしてください。

メモの内容を共有する場合

→ 共有方法をタップします。

3「完了」

作成したメモが一覧で表示されます。一覧画面でメモをタップすると1件表示されます。表示されたメモをタップすると編集できます。

メモのメニュー

一覧画面で をタップすると、以下の操作メニューが表示されます。

項目	説明
ソート	メモを並べ替えます。
送信	メモをBluetooth機能などで送信します。
印刷	Wi-FiやUSB接続ケーブルで接続した、本機能に対応するSamsung製のプリンターでメモを印刷します。 • 2011年11月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンターはありません。
メモを同期	Google Docsと同期します。
SNSログイン	SNSにログインします。
PIN認証	コンテンツのロックを解除するためのPINを設定します。
テキストサイズ	文字の大きさを設定します。

お知らせ

- メモをBluetooth機能で受信した場合、受信したメモのタイトルは本文の1行目に挿入され、タイトルには「メモ」と表示されます。受信したメモ画面で「完了」をタップすると保存できます。

ペンメモ

手書き入力などによるペンメモを作成できます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「ペンメモ」

2

手書き入力の画面が表示され、ディスプレイ上を指で触れて手書き入力します。

- 画面下の ／ をタップすると操作の取り消し／やり直し、 をドラッグするとページ内のスクロールができます。

手書き入力を消す場合

手書き入力の画面で をタップして指で触れて入力した内容を消します。

文字列を入力する場合

① 手書き入力の画面で T → 文字列を入力する箇所をタップする
② キーボードで文字列を入力 → 入力画面をタップする

線の色や太さ、背景色などを設定する場合

手書き入力の画面で をタップし、ブラシや色、線や消しゴムの太さ、テーマを設定します。

3 「完了」

作成したペンメモが一覧で表示されます。一覧画面でペンメモをタップすると1件表示されます。表示されたペンメモをタップすると編集できます。

ペンメモのメニュー

一覧画面や1件表示画面、作成／編集中画面で ☰ をタップすると、以下の操作メニューが表示されます。

項目	説明
ソート※1	ペンメモを並べ替えます。
全て消去※2	入力／挿入した内容をすべて削除します。
挿入※2	画像を挿入します。
共有方法を選択	PicasaへのアップロードやAllShareでのデータ共有、Bluetooth機能やGmailでの送信などができます。
エクスポート	作成したペンメモを画像やメモとして保存します。
登録※3	ホーム画面や画面ロック時の壁紙、連絡先の画像などへ設定します。
印刷	Wi-FiやUSB接続ケーブルで接続した、本機能に対応するSamsung製のプリンターでペンメモを印刷します。 • 2011年11月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンターはありません。
メモの同期※1	Google Docsと同期します。

項目	説明
自動タグの設定※1	自動タグを有効にするかどうかを設定したり、自動タグで記録された情報を削除します。 ・「自動タグを有効」にチェックを付けると、ミニアプリケーションのペンメモ（P.86）で保存したペンメモに、操作中のアプリケーション名などを記録します。記録された情報はリスト一覧表示中や1件表示／編集中画面で確認できます。アプリケーションによっては記録された情報をタップするとアプリケーションを起動できます。

※1　一覧画面でのみ表示されます。
※2　作成／編集中画面でのみ表示されます。
※3　1件表示画面、作成／編集中画面でのみ表示されます。

Polaris Office

本端末でOffice文書を表示／編集したり、新規に作成したりできます。Box.netのアカウントをお持ちの場合は、ドキュメントをオンライン上で管理できます。

対応しているファイルの種類とバージョンは以下のとおりです。

- パスワード付きのファイルは利用できない場合があります。

種類	バージョン／拡張子
Microsoft Word	Word 97 ～ Word 2010 ／ doc、docx
Microsoft Excel	Excel 97 ～ Excel 2010 ／ xls、xlsx、csv
Microsoft PowerPoint	PowerPoint 97 ～ PowerPoint 2010 ／ ppt、pptx、pps
Adobe Acrobat	Acrobat 3.0 ～ 9.0（PDFバージョン1.2 ～ 1.7）※
その他	txt、hwp、rtf

※ 閲覧のみ可能です。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「Polaris Office」

Polaris Officeホーム画面が表示されます。

- 「ユーザー登録」画面が表示された時に、メールアドレスを入力して「登録」をタップすると、会員登録を行うことができます。

ドキュメントを新規作成する

1 Polaris Officeホーム画面で「新しいファイル」→ 文書の種類を選択する

- 「設定」をタップすると、バックアップファイルの生成や拡張子の表示、アプリケーションの更新などができます。

2 文書を入力する

3 文書を保存するには → ファイル名を入力し、保存場所を選択する

4 「保存」

保存された後、ドキュメントの編集画面が表示されます。 を2回または3回タップするとPolaris Officeホーム画面に戻ります。

ドキュメントを表示／編集する

1 Polaris Officeホーム画面で表示／編集する文書をタップする

- 編集する場合は続けて をタップします。

■保存した文書を削除する

1 Polaris Officeホーム画面で「Local Storage」→ 削除する文書の保存場所を選択する

2 文書にチェックを付ける → → 「確認」→「確認」

辞典

2ヶ国語の辞書（日・英）を利用して語句を検索したり、フラッシュカードで単語を学習することができます。
お買い上げ時は以下の辞書が搭載されています。

- 旺文社ポケットコンプリヘンシブ英和・和英辞典 ©2010 Obunsha Co.,Ltd

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「辞典」**

2 **検索する語句を入力する**

検索履歴を確認する場合

「履歴」タブをタップします。

フラッシュカードに登録する場合

単語検索／履歴画面で ＋ → フォルダーを選択 →「OK」をタップします。

ダウンロード

本端末のブラウザなどのアプリケーションでダウンロードしたファイルを記録／管理できます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「ダウンロード」

「インターネットダウンロード」タブの画面にはブラウザなどがインターネットでダウンロードしたファイルの一覧が表示されます。アプリケーションがインターネット以外からダウンロードしたファイルは「その他のダウンロード」タブの画面に表示されます。
本端末が対応しているファイルの場合は、ファイル名をタップすると表示できます。

ダウンロードしたファイルを共有する場合

ファイルの一覧画面で共有したいファイルにチェックを付けて、 →共有の方法をタップします。

ダウンロードしたファイルを削除する場合

ファイルの一覧画面で削除したいファイルにチェックを付けて、 をタップします。

お知らせ

- ダウンロードに失敗したファイルは、ファイルの一覧画面に「失敗」などが表示されます。ファイル名をタップすると、再度ダウンロードを行います。
- ファイルの一覧画面で「サイズ順」／「日付順」をタップするごとに、一覧の表示順を切り替えることができます。

Backup

本端末に保存されているすべてのデータや設定をバックアップ／復元できます。

- オンラインストレージサービス（Dropbox）にバックアップするには、各サービスのアカウント登録が必要です。
- データ容量が2Gバイト以上の場合はバックアップできません。音楽や動画など、サイズの大きいデータを保存している場合はご注意ください。
- バックアップ／復元は、他の機能やアプリケーションを終了させてから行ってください。起動中の機能やアプリケーションは、タスクマネージャー（P.73）で確認／終了できます。
- オンラインストレージサービスにシステム設定情報をバックアップする場合、アクセスポイント設定はバックアップできません。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「Backup」

初めて起動したときは使用許諾契約書が表示されるので、「同意」をタップします。
Backup画面が表示されます。

バックアップする

1 Backup画面で「新しいバックアップ」→ バックアップファイルの名前を入力し、保存先を選択 →「確認」

2 項目にチェックを付ける →「バックアップを開始」

完了のお知らせが表示されたら「完了」をタップします。

バックアップファイルを本端末に復元する

1. Backup画面で「復元」→ 復元したいデータの保存先をタップ → バックアップファイルをタップ → 項目にチェックを付ける →「復元を開始」
   完了のお知らせが表示されたら「完了」をタップします。

スケジュールを設定して自動的にバックアップする

1. Backup画面で「スケジュールバックアップ」→ スケジュールを設定 → 時間を設定 → 保存先を選択 → 項目にチェックを付ける →「スケジュールを設定する」

Backupのメニュー

をタップすると以下のメニューが表示されます。

項目		説明
一般設定	使用許諾契約書	使用許諾契約書を確認します。
	製品の改善	製品改善のための情報を送信するかどうかを設定します。
	製品情報	製品情報を表示します。
オンラインバックアップ	Wi-Fi接続時のみ使用	Wi-Fi接続時のみオンラインバックアップを使用するかどうかを設定します。
セキュリティ	暗号化を有効	セキュリティ強化のためにバックアップファイルを暗号化します。
	パスワードの変更	暗号化に使用するパスワードの変更をします。
自動バックアップ	バックアップを自動消去	古いバックアップデータを保存しておく数を設定します。

Pulse

登録されたWebサイトから自動的に最新の情報を取得してリスト表示します。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「Pulse」

Pulseに登録されているWebサイトの情報が行ごとにリスト表示されます。

- お買い上げ時は、最上段にPulseの使用方法についての説明（HINTS）が表示されます（英語のみ）。

2 閲覧したい情報をタップする

お知らせ

- Pulseの情報のリスト表示画面で をタップすると、次の項目が表示されます。
  - 「設定」：画面表示や情報取得の更新間隔、条件などを設定できます。
  - 「全て更新」：情報を全て更新します。
  - 「既読の記事を非表示」／「全て表示」：リスト表示内の既読情報を表示するかどうかを設定します。
  - 「情報/サポート」：サポートフォーラムを表示したり、Eメールで問い合わせなどします。
- をタップすると、情報を取得するサイトを選択／追加することができます。

Social Hub

Social Hubとは、SMSやEメール、SNS（Social Network Service）を統合するメッセージングアプリケーションです。
Social HubからSMSやEメールの確認や送信、SNSの情報更新ができます。

1 ホーム画面で「Social Hub」

2 「フィード」／「メッセージ」→ 確認・利用したいアカウントをタップする

- SMSやEメールを作成するには をタップします。

お知らせ

- SNSなどのアカウントを追加するには、 →「アカウント」をタップします（P.81）。

フォトエディター

撮影した画像や、本端末やmicroSDカードに保存されている画像を編集することができます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「フォトエディター」

2 「画像を選択」／「画像を撮影」→ 画像を選択する

フォトエディターの編集画面が表示されます。

- 「画像を撮影」をタップした場合、カメラが起動し、静止画の撮影ができます。撮影後、「保存」をタップすると編集画面に切り替わります。

3 編集を行う

4 💾 → ファイル名を入力 →「OK」

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。電話、SMS は設定の変更なくご利用になれます。

■ 対応エリアについて

本端末は3Gネットワークおよび GSM ／ GPRS ネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。また、GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。

■ 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの『国際サービスホームページ』
- 「ドコモ海外利用」アプリケーションのヘルプ

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国 地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

海外で利用できるサービス

（○：利用可能　×：利用不可）

主な通信サービス	3G	GSM/GPRS	GSM
電話	○	○	○
SMS	○	○	○
メール※1	○	○	×
ブラウザ※1	○	○	×
GPSの現在地確認※2	○	○	×

※1　ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングを有効にしてください。（P.348）

※2　GPS測位（現在地確認）を行うとパケット通信料がかかります。

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

海外でご利用になる前の確認事項

出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。
- ご利用のアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

事前確認

■ ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

「ネットワークオペレーター」の設定で「自動的に選択」を選択している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

「ネットワークオペレーター」を手動で定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が1日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

- ネットワークオペレーターの設定 → P.346

■ ディスプレイの表示について

ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。

：国際ローミング中

／　：GPRS接続中／使用中

／　：3G（パケット）接続中／使用中

／　：FOMAハイスピード（パケット）接続中／使用中

- 接続している通信事業者名は、設定／通知パネルで確認できます。

■ 日付と時刻について

「日付と時刻」の「自動日時設定」にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます（P.229）。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻の設定 → P.229

■ お問い合わせについて

- 本端末やドコモUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書裏面をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「ネットワークモード」のネットワークモードを「GSM ／ WCDMA（Auto mode）」に設定してください。（P.346）
- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークオペレーター」を「自動的に選択」に設定します（P.347）。

滞在先での電話のかけかた／受けかた

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

1 **ホーム画面で「電話」**

2 **＋（「0」をロングタッチ）→ 国番号 → 地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた相手の電話番号を入力する**
   - イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

3 **「発信」**

4 **通話が終了したら「終了」**

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で「電話」

2 相手の電話番号を入力する

3 「発信」

4 通話が終了したら「終了」

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「+」と「81」(日本の国番号)を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

日本国内での操作と同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。
- 海外での利用時には、「着信拒否」が動作しない可能性があります（P.205）。

相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX

海外のネットワーク接続に関する設定を行う

海外で本端末を使用する場合は、滞在先で接続できる通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。お買い上げ時は、接続できるネットワークを自動的に検出して切り替えるように設定されていますが、手動で設定を変更することもできます。

ネットワークモードを設定する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークモード」

2 優先して使用するネットワークモードをタップする

- GSM ／ WCDMA（Auto mode）：GSMネットワークまたは3Gネットワークを自動で選択して使用します。
- GSM only：GSMネットワークのみを使用します。
- WCDMA only：3Gネットワークのみを使用します。

接続できる通信事業者を確認して手動で設定する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークオペレーター」

検索された通信事業者名のリストが表示されます。

- 情報画面が表示された場合は、「OK」をタップします。
- 「ネットワークを検索」をタップして、再検索することもできます。

2 接続する通信事業者名をタップする

お知らせ

- 接続する通信事業者を手動で設定した場合、本端末がサービスエリア外に移動しても別の接続可能な通信事業者には自動的に接続されません。

接続できる通信事業者を自動的に選択する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークオペレーター」

- 情報画面が表示された場合は、「OK」をタップします。

2 「自動的に選択」

データローミングを有効にする

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」

2 「データローミング」にチェックを付ける
注意メッセージが表示されます。

3 「OK」

付録／索引

オプション品・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。

また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- ACアダプタ SC01 ／ SC02
- USB接続ケーブル SC01
- USB変換アダプタ SC01
- 卓上ホルダ SC04
- HDMI変換ケーブル SC02※1
- 車載ハンズフリーキット 01※2
- 骨伝導レシーバマイク 02※2
- FOMA補助充電アダプタ 02※1

※1　本端末と接続するには、USB接続ケーブルSC01が必要です。充電中に電源が入っていたり、機能を使用している場合は規定の電池容量まで充電できない場合があります。

※2　本端末とBluetooth 通信で接続できます。

試供品(microSD カード(1GB)、マイク付ステレオヘッドセット)

- 試供品は無料修理保証の対象外です。

ご使用方法

■ microSD カード

ご使用上のお願い

- 正しい取り付けかた／取り外しかたをご確認ください。無理に取り付け／取り外しを行うと、故障の原因となります。
- microSDカードをご使用の際は、必ずデータのバックアップを作成してください。microSDカードに記録されたデータの破壊、消失については、故障や損害の内容／原因に関わらず、Samsung Electronicsは一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードには寿命があります。長期間または繰り返しご使用になると、データの書き込みや読み込みなどのご使用ができなくなったり、遅くなったりする場合があります。
- microSDカードおよびSD変換アダプタにラベルやシールなどを貼った状態で、機器に取り付けないでください。機器への取り付け／取り外しができなくなったり、接触不良が発生したりする原因となります。
- microSDカードを廃棄する場合は、地方自治体の規則に従って処理してください。

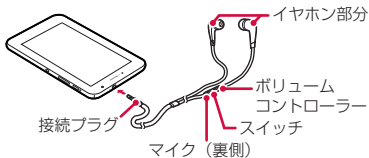
免責事項について

次の項目に該当する場合について、Samsung Electronicsは一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- microSDカードの使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からの請求
- microSDカードの取り扱いにおいて、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害
- microSDカードのご使用において発生したデータの消失、破損
  - Samsung Electronicsでは、データの復旧/回復作業は行っておりません。
- 接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから発生した損害

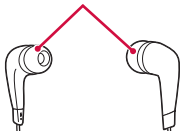
主な仕様

動作電圧	2.7V～3.6V
外形寸法	縦:約15mm　横:約11mm　厚み:約1mm
質量	約0.29g

■ マイク付ステレオヘッドセット

1 **マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込む**

- スイッチを1秒以上押すと音楽プレーヤーを起動できます。音楽プレーヤーや動画が再生しているときは、スイッチを押すたびに再生／一時停止の切り替えができます。
- 使い終わったら、取り付けかたと逆の手順で取り外します。

イヤピースのサイズが合わないときは

マイク付ステレオヘッドセットには、サイズの異なる2種類のイヤピースが付属しています。サイズが合わないと感じたときは、交換してください

主な仕様

コネクタ形状3.5mm	ステレオミニプラグ
インピーダンス	32Ω
最大入力	40mW
音圧感度	95±3dB/mW
サイズ	長さ約1180mm
質量	約12.7g（本体のみ）

- 仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まず初めにソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.371）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェックする箇所
本端末の電源が入らない	• 電池切れになっていませんか。 → P.63

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない	• ACアダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 • ACアダプタとUSB接続ケーブル、またはUSB接続ケーブルと本端末が正しくセットされていますか。 • USB接続ケーブルでパソコンから充電する場合、パソコンの電源が入っていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電できなくなる場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作

症状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながら動画撮影などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、付属のACアダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

症状	チェックする箇所
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
タッチスクリーンをタップしても動作しない	• 画面ロックが設定されていませんか。 ⓘ を押して画面ロックを解除してください。 → P.65
タッチスクリーンをタップしたときの画面の反応が遅い	• 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
ドコモUIMカードが認識しない	• ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→ P.49
時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。自動日時設定がチェックされているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

症状	チェックする箇所
端末動作が不安定	• ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 • セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から電源ボタンを押し、「GALAXY Tab」が画面に表示されている間、（音量小）を押し続けてください。 ※ セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。 • 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 • お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 • セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

症状	チェックする箇所
データが正常に表示されない／タッチスクリーンを正しく操作できない	• 「システムメモリー（本体）を初期化」（P.223）をお試しください。
画面ロックを解除できない	• 画面ロックの解除にパターン／ PIN ／パスワードが設定されていませんか。 → P.215
ネットワークに接続できない	• 電波の弱い場所で使用していませんか。 → P.91
本端末が応答しない、操作できなくなった	• を10～15秒間押してください。自動的に再起動します。再起動しても問題が解決しないときは「システムメモリー（本体）を初期化」（P.223）をお試しください。

■ 通話

症状	チェックする箇所
電話発信ボタンをタップしても発信できない	• ドコモUIM カードが正しく本端末に取り付けられていますか。 → P.49 • 機内モードを設定していませんか。 → P.192
着信音が鳴らない	• マナーモードに設定していませんか。 → P.210 • 「音量」の「音声着信」の音量を0 にしていませんか。 →P.206 • 「着信拒否」で「自動着信拒否の有効化」および「自動着信拒否リスト」を設定していませんか。 → P.205 • 機内モードを設定していませんか。 → P.192 • 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」にしていませんか。 → P.176、P.183
通話ができない	• 電源を入れ直すか、ドコモUIM カードを取り付け直してください。→ P.49 、P.64 • 電波の性質により、圏外ではない、電波が強くアンテナマークが４本表示されている状態（ ）でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

症状	チェックする箇所
ディスプレイが暗い	• 画面の表示が消えるまでの時間を設定していませんか。→ P.211 • 画面の明るさ調節を変更していませんか。 → P.211 • 省電力モードを設定していませんか。 → P.212 • 省エネモードを設定していませんか。 → P.211 • 電池残量が少なくなっていませんか。 → P.60

■ 音声

症状	チェックする箇所
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 通話音量を変更していませんか。 → P.157

■ データ表示

症状	チェックする箇所
各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する	• 画像やメロディなどの取得時に挿入していたドコモUIMカードが挿入されていますか。→ P.49

■ メール

症状	チェックする箇所
Eメールを自動で受信しない	• Eメールの新着Eメール自動確認を「設定なし」に設定していませんか。 → P.240

■ カメラ

症状	チェックする箇所
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• 近くの被写体を撮影するときは、接写撮影に切り替えてください。 • カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
カメラを起動しようとするとエラーメッセージが表示される	• 電池残量を確認してください。 → P.63 • メモリの空き容量を確認してください。 • 本端末を再起動してください。

■ 海外利用

症状	チェックする箇所
海外で本端末が使えない	**■アンテナマークが表示されている場合** • WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。 **■（圏外）が表示されている場合** • 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』で確認してください。 • 「ネットワークオペレーター」を「自動的に選択」に設定してください。 → P.347 • 本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直すことで回復することがあります。

症状	チェックする箇所
海外でデータ通信ができない	• データローミングを有効にしてください。 → P.348
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	• 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

症状	チェックする箇所
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードを取り付け直してください。 → P.53
画像が表示されない	• 未対応の画像データの場合はが表示されます。

■ Bluetooth機能

症状	チェックする箇所
Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	• Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXX（XXXX）が予期せず中止しました。やり直してください※	• 本端末や機能にエラーが発生したときに表示されます。「強制終了」をタップしてから再度操作してください。	－
通話にするには、機内モードをOFFにしてください。	• ドコモUIMカードが正しく取り付けられていない、または機内モードを設定した状態で電話をかけようとしたときに表示されます。ドコモUIMカードが正しく取り付けられていることを確認するか、機内モードをオフにしてから再度操作してください。	P.49、P.192

※ XXXXには、エラーが発生したアプリケーションや機能の名称などが表示されます。

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳（連絡先）などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳（連絡先）などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、連絡先のインポート／エクスポート機能を使用して電話帳の登録データをmicroSDカードやドコモUIMカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」（P.355）をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ヘッドホン接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

  ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後４年間を基本としております。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。
    ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。

  キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

  使用箇所：スピーカー、カメラ、バイブレータ部分
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理、内蔵電池の交換をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

インターネット上のダウンロードサイトから本端末の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。ソフトウェア更新には、本端末で直接ネットワークに接続して行う方法があります。

ソフトウェア更新についての注意事項

- ソフトウェア更新は本端末に保存されているデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。万が一のトラブルに備え、本端末内のお客様情報やデータは、バックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし一部バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新の前に以下の準備を行ってください。
  - 本端末で実行中のすべてのプログラムを終了する（P.73）
  - 本端末を充電（P.57）し、電池残量を十分な状態にする
- ソフトウェア更新（ダウンロード、更新ファイルのインストール）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新ファイルのインストール中は、すべての機能を利用できません。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

本端末でネットワークに接続して更新する

本端末でネットワークに接続して本端末のソフトウェアを更新できます。

- ソフトウェア更新を利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合、設定を行ってから操作してください（P.80）。

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「更新」**

2 **以降、画面の指示に従って操作する**

ソフトウェア更新が完了すると、本端末が自動的に再起動します。

お知らせ

- ソフトウェアをダウンロードしたあと、インストール続行の確認画面で「後で」をタップするとインストールの実行を一定時間延期できます。
  延期した場合でも、「更新」をタップするとすぐにインストールを開始できます。

パソコンに接続して更新する

パソコンにインストールした「Samsung Kies」（P.274）を使って本端末のソフトウェアを更新できます。

1. パソコンでSamsung Kiesを起動する
2. 本端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続する
3. 以降、パソコンの画面の指示に従って操作する

主な仕様

■ 本体

品名		SC-02D
サイズ		高さ約194mm×幅約122mm×厚さ約10.0mm （最厚部：約10.1mm）
質量		約345g
メモリー		ROM　16GB RAM　1GB
連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約1100時間
	GSM	静止時（自動）：約960時間
連続通話時間	FOMA／3G	約1200分
	GSM	約1160分
充電時間		約230分

ディスプレイ	種類	TFT
	サイズ	約7.0inch
	発色数	16,777,216色
	ドット数	600x1024ドット ワイドSVGA（WSVGA）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	フロントカメラ：1/5.0inch リアカメラ：1/5.0inch
カメラ有効画素数		フロントカメラ：約190万画素 リアカメラ：約310万画素
記録画素数（最大時）		フロントカメラ：約190万画素 リアカメラ：約310万画素
音楽再生	Windows Media Audio（WMA）ファイル	連続再生時間約2277分
	MP3ファイル	連続再生時間約2283分
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n準拠※1

Bluetooth機能	対応バージョン※2	Bluetooth標準規格 Ver.3.0+EDR
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 1
	見通し通信距離※3	約10m以内
Bluetooth機能	対応プロファイル※4	Object Push Profile（OPP） Headset Profile（HSP） Hands-Free Profile（HFP） Advanced Audio Distribution Profile（A2DP） Audio/Video Remote Control Profile（AVRCP） Human Interface Device Profile（HID） Serial Port Profile（SPP） Personal Area Network Profile（PAN）

※1　IEEE802.11nは2.4GHz、5GHzに対応
※2　本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、BluetoothSIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※3　通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
※4　Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。

  なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）·待受時間は短くなります。また、通信やインターネット接続をしなくても電子メールを作成したり、アプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、本端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	4,000mAh

ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	mp4

■ 静止画の撮影枚数（目安）

撮影サイズ	SC-02D（本体）※
640×480	最大約44000枚

※ お買い上げ時の保存可能枚数です。

■ 動画の撮影時間（目安）

撮影サイズ	SC-02D（本体）※
640×480	最大約480分（1件あたり最大約60分）

※ お買い上げ時の録画可能時間です。

認定および準拠について

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、本端末で以下の操作を行うとご確認いただけます。

ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「端末情報」→「認証」をタップします。

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.
These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your device is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the exposure limits for radiofrequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission (FCC) of the U.S.Government.
These FCC exposure limits are derived from the recommendations of two expert organizations: the National Council on Radiation Protection and Measurement (NCRP) and the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE).
In both cases, the recommendations were developed by scientific and engineering experts drawn from industry, government, and academia after extensive reviews of the scientific literature related to the biological effects of RF energy.
The exposure limit set by the FCC for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR is a measure of the rate of absorption of RF energy by the human body expressed in units of watts per kilogram (W/kg). The FCC requires wireless devices to comply with a safety limit of 1.6 watts per kilogram (1.6 W/kg).
The FCC exposure limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection to the public and to account for any variations in measurements.

SAR tests are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output.
Before a new model device is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the exposure limit established by the FCC. Tests for each model of a device are performed in positions and locations (e.g. near the body) as required by the FCC.
For typical operations, this device has been tested and meets FCC RF exposure guidelines.
Use of other accessories may not ensure compliance with FCC RF exposure guidelines.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. The maximum Body-worn SAR value for this model phone as reported to the FCC is 0.983 W/kg.

FCC Radio Frequency Emission

This device meets the FCC Radio Frequency Emission Guidelines.
SAR information on this and other model devices can be viewed online at http://ww.fcc.gov/oet/ea.
To find information that pertains to this particular model device, this site uses the FCC ID number A3LSWDSC02D.
Follow the instructions on the website and it should provide values for typical or maximum SAR for a particular device. Additional product specific SAR information can also be obtained at www.fcc.gov/cgb/sar.

European RF Exposure Information

THIS MODEL MEETS INTERNATIONAL GUIDELINES FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES

Your mobile phone is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg. As mobile phone offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide*1. In this case, the highest tested SAR value is 0.841 W/kg.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a 'handsfree' device to keep the mobile phone away from the head and body.

※1 When carrying the product or using it while worn on the body maintain a distance of 5 mm from the body to ensure compliance with RF exposure requirements.

Declaration of Conformity (R&TTE)

We, Samsung Electronics
declare under our sole responsibility that the product

Portable GSM WCDMA Wi-Fi Device : SC-02D

to which this declaration relates, is in conformity with the following standards and/or other normative documents.

SAFETY	EN 60950-1 : 2006 +A1 : 2010
SAR	EN 62209-2 : 2010 EN 62479 : 2010 EN 62311 : 2008
EMC	EN 301 489-01 V1.8.1 (04-2008) EN 301 489-07 V1.3.1 (11-2005) EN 301 489-17 V2.1.1 (05-2009) EN 301 489-24 V1.5.1 (10-2010) EN 55022 : 2006 +A1 : 2007 EN 55024 : 1998 +A1 : 2001 +A2 : 2003

RADIO	EN 301 511 V9.0.2 (03-2003) EN 300 328 V1.7.1 (10-2006) EN 301 908-1 V4.2.1 (03-2010) EN 301 908-2 V4.2.1 (03-2010) EN 300 440-1 V1.6.1 (08-2010) EN 300 440-2 V1.4.1 (08-2010) EN 301 893 V1.5.1 (12-2008)

We hereby declare that [all essential radio test suites have been carried out and that] the above named product is in conformity to all the essential requirements of Directive 1999/5/EC.
The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex[Ⅳ] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

BABT, Forsyth House, Churchfield Road,

Walton-on-Thames, Surrey, KT12 2TD, UK※

Identification mark: 0168

The technical documentation kept at :
Samsung Electronics QA Lab.

which will be made available upon request.
(Representative in the EU)

Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park, Saxony Way,
Yateley, Hampshire, GU46 6GG, UK※

2011.11.02
(place and date of issue)

Joong-Hoon Choi / Lab Manager

(name and signature of authorised person)

※ It is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権について

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「mopera」「mopera U」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「エリアメール」「spモード」「spモードメール」および「あんしんスキャン」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Android マーケット」、「Androidマーケット」ロゴ、「Gmail」、「Google Calendar」、「Google Maps」、「Google Talk」、「Google Latitude」、「Google＋」、「Picasa」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）のiWnnを使用しています。
  iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved.
- Microsoft®、Windows Media®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

- DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporationおよびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

DIVXビデオについて：DivX®は、Rovi Corporationの子会社であるDivX, LLC.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified®（DivX認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。

DIVXビデオオンデマンドについて：DivXビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、このDivX Certified®（DivX認証）デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。

プレミアムコンテンツを含む最高HD 720pのDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified®(DivX認証)取得済み。1080pのDivX®ビデオも再生できる場合があります。

- 「Twitter」はTwitter, Incの商標または登録商標です。
- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」は株式会社ミクシィの商標または登録商標です。
- 筆まめは、株式会社筆まめの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
spモードからdメニュー ⇒「お客様サポート」⇒「各種お申込・お手続き」
パソコンからMy docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き
※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID/パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

公共の場所で本端末をご利用の際は周囲への心くばりを忘れずに。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ **運転中の場合**
運転中の本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 公共モード（電源OFF）→P.187
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に通話を終了します。

■ バイブレータ→P.209
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ マナーモード → P.210
操作音や通知音など本端末から鳴る音を消します。

■ 機内モード → P.192
すべてのワイヤレス接続を無効にします。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.176）、転送でんわサービス（P.183）などのオプションサービスが利用できます。

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号	-81-3-6832-6600*（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※ SC-02Dからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号	-8000120-0151*

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

● **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号	-81-3-6718-1414*（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※ SC-02Dからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号	-8005931-8600*

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- **お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00 ～ 午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ

製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.

'11.11（1.1版）